

第4章

独自設問の分析結果

第4章 独自設問の分析結果

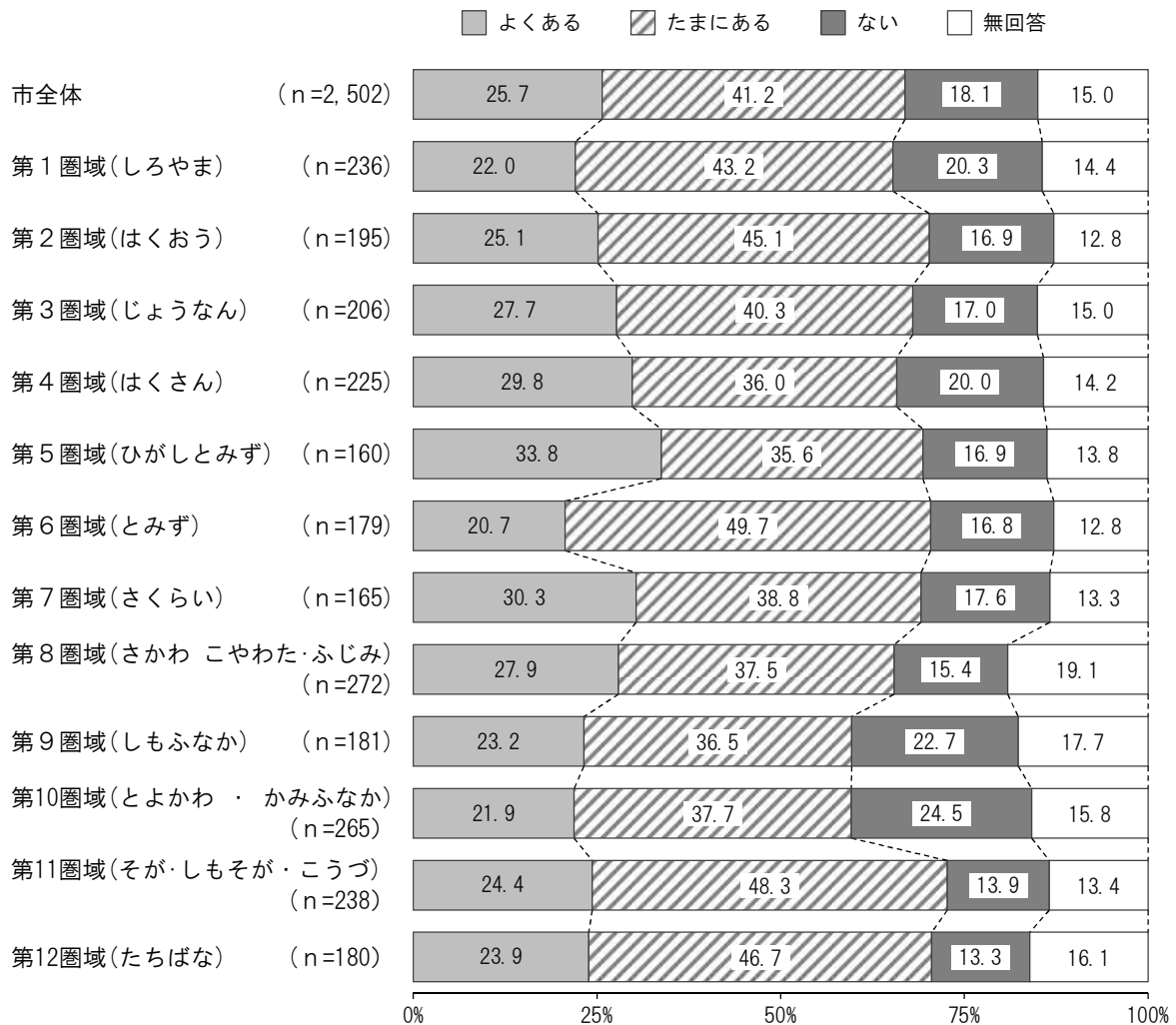
1 家族や生活状況について

1-問1-2 (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

日中一人になることの有無は、市全体で「よくある」が25.7%、「たまにある」が41.2%となり、両者合わせて66.9%が『ある』と回答しています。

日常生活圏域別にみると、『ある』は、第11圏域（そが・しもそが・こうづ）で72.7%、第12圏域（たちばな）で70.6%、第6圏域（とみず）で70.4%、第2圏域（はくおう）で70.2%と高くなっています。

図 4.1 日中一人になることの有無（日常生活圏域別）

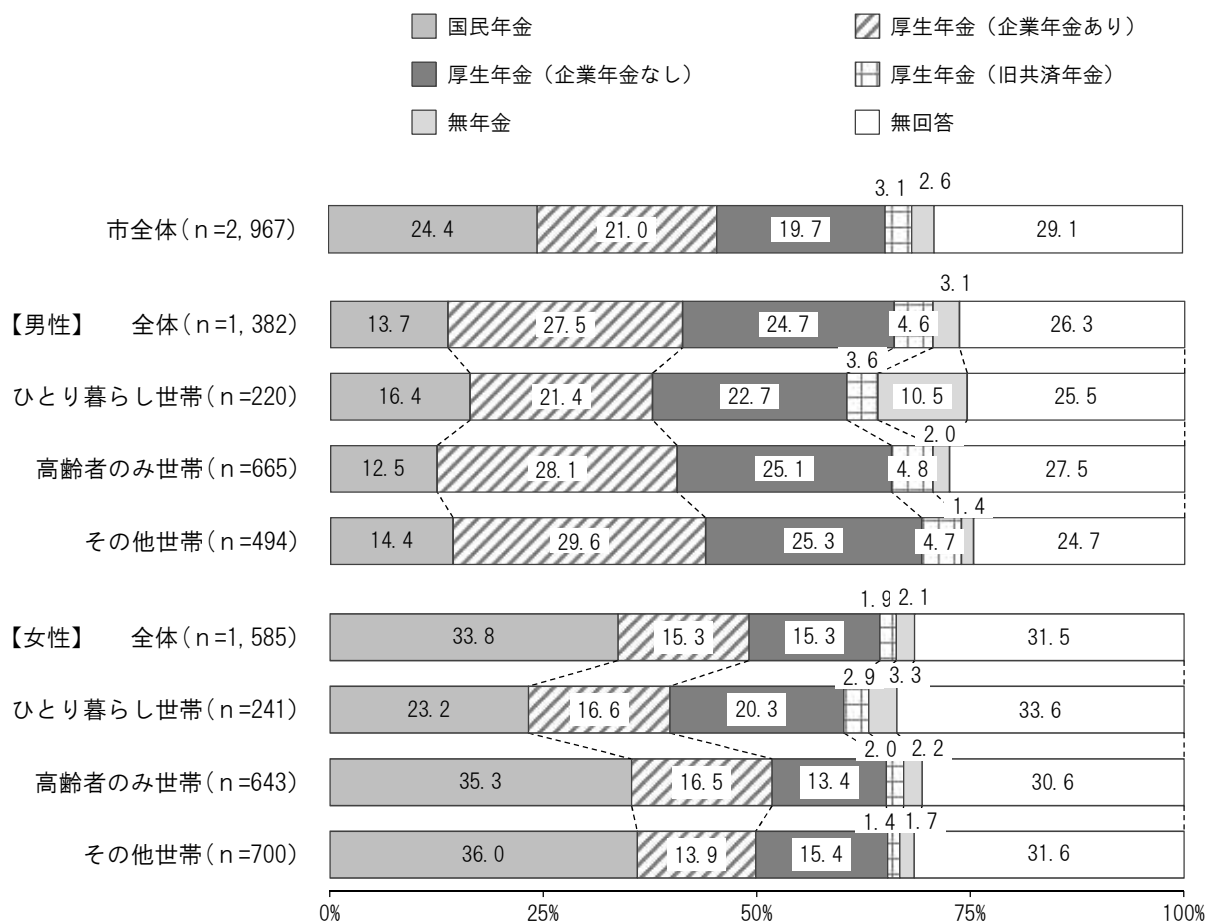


1 問2 年金の種類は次のどれですか。※企業年金とは、勤めていた会社からの年金のことです

年金の種類は、市全体で「国民年金」が24.4%、「厚生年金（企業年金あり）」が21.0%、「厚生年金（企業年金なし）」が19.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、「国民年金」は男性より女性の割合が高く、男性ではひとり暮らし世帯が16.4%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.2 年金の種類（性別・家族構成別）

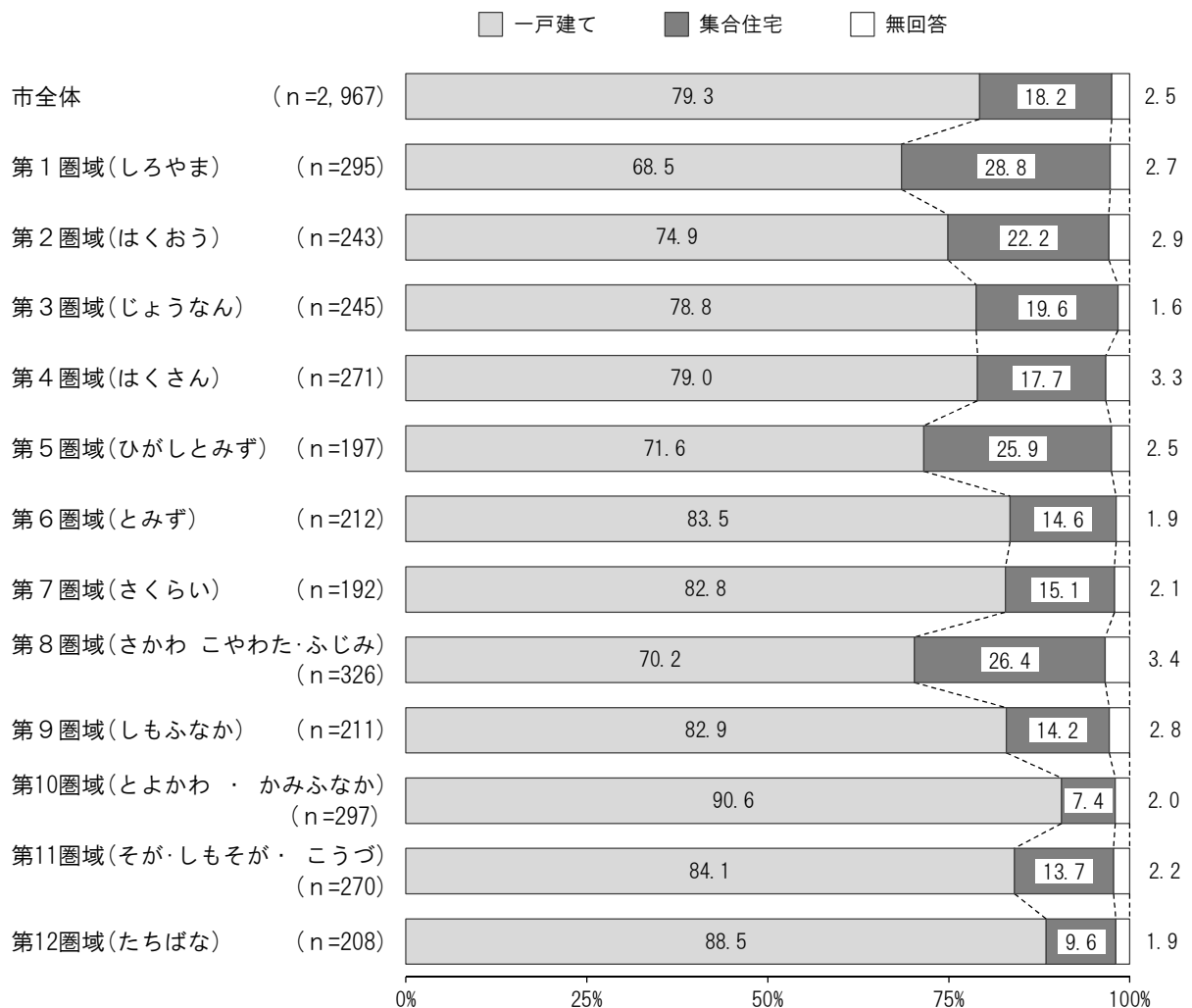


1 問3 お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか。

居住形態は、市全体で「戸建て」が79.3%、「集合住宅」が18.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、「戸建て」は第10圏域（とよかわ・かみふなか）で90.6%、第12圏域（たちばな）で88.5%と高く、「集合住宅」は第1圏域（しろやま）で28.8%、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で26.4%と高くなっています。

図 4.3 居住形態（日常生活圏域別）

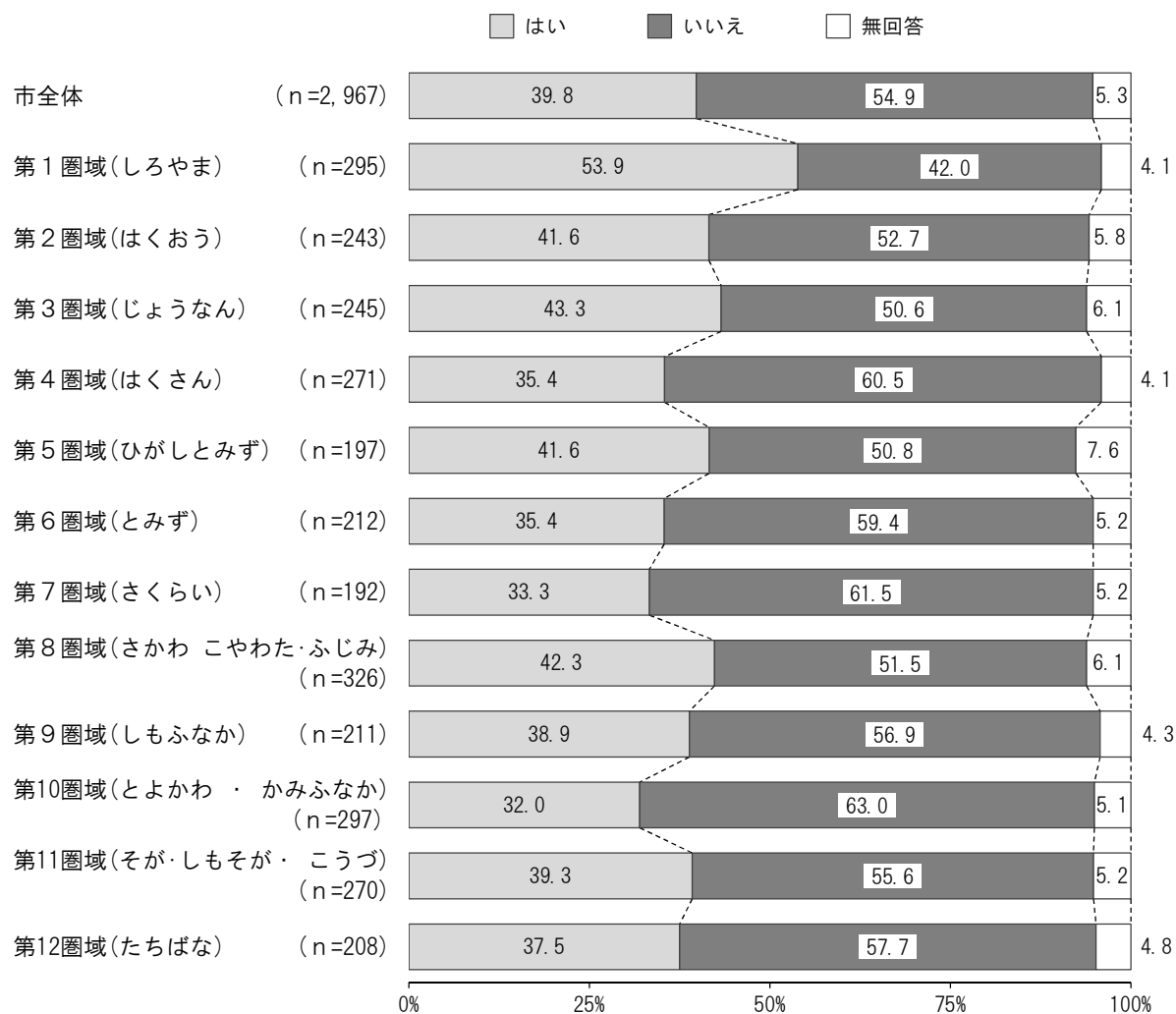


1 問4 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

主に生活する部屋が2階以上にある割合は、市全体で39.8%となっています。

日常生活圏域別にみると、生活する部屋が2階以上にある割合は、第1圏域（しろやま）で53.9%、第3圏域（じょうなん）で43.3%、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で42.3%と高くなっています。

図4.4 主に生活する部屋が2階以上（日常生活圏域別）



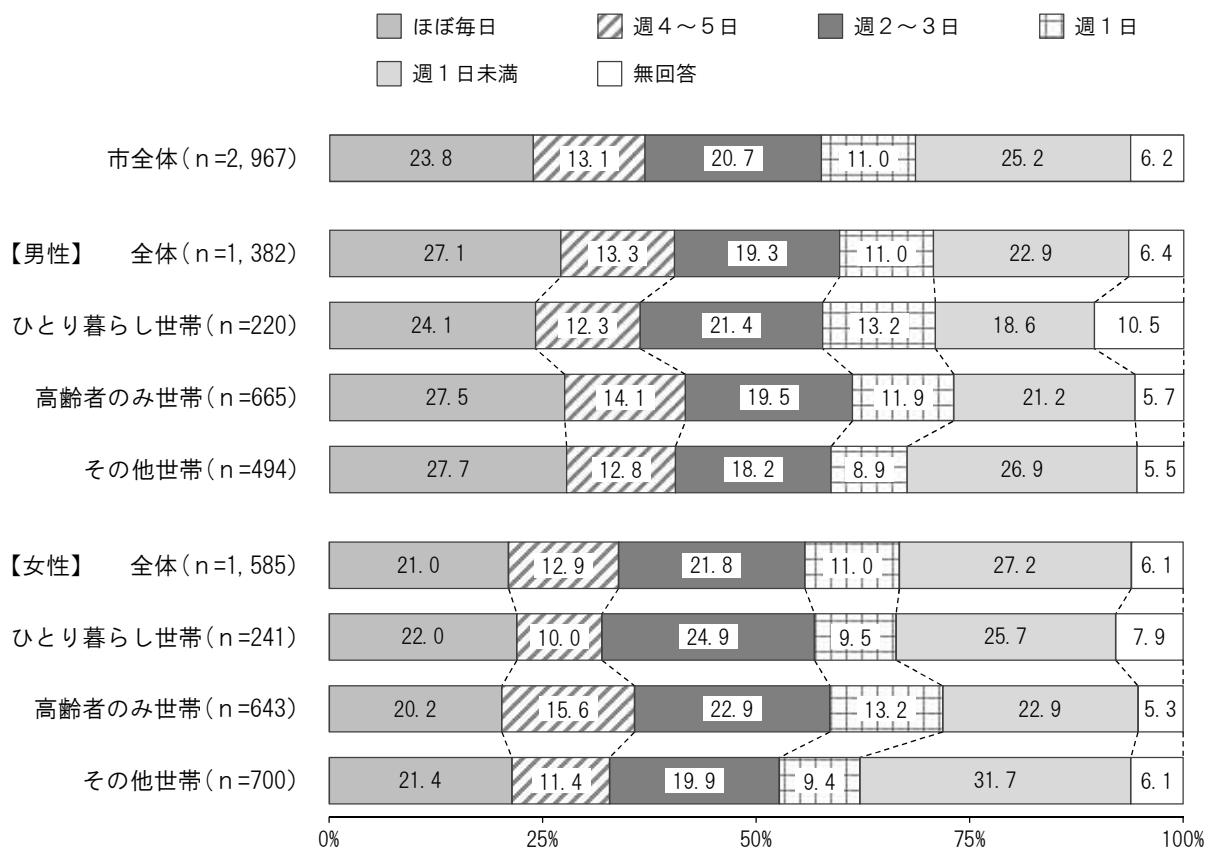
2 運動・閉じこもりについて

2-問5 散歩で外出をする頻度はどれくらいですか。

外出頻度について、市全体では「週1日未満」が25.2%、続いて「ほぼ毎日」が23.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「週1日未満」は全ての家族構成において女性の割合が男性を上回っています。また、女性のその他世帯の割合が31.7%と、他の家族構成と比べて最も高くなっています。

図 4.5 外出頻度（性別・家族構成別）

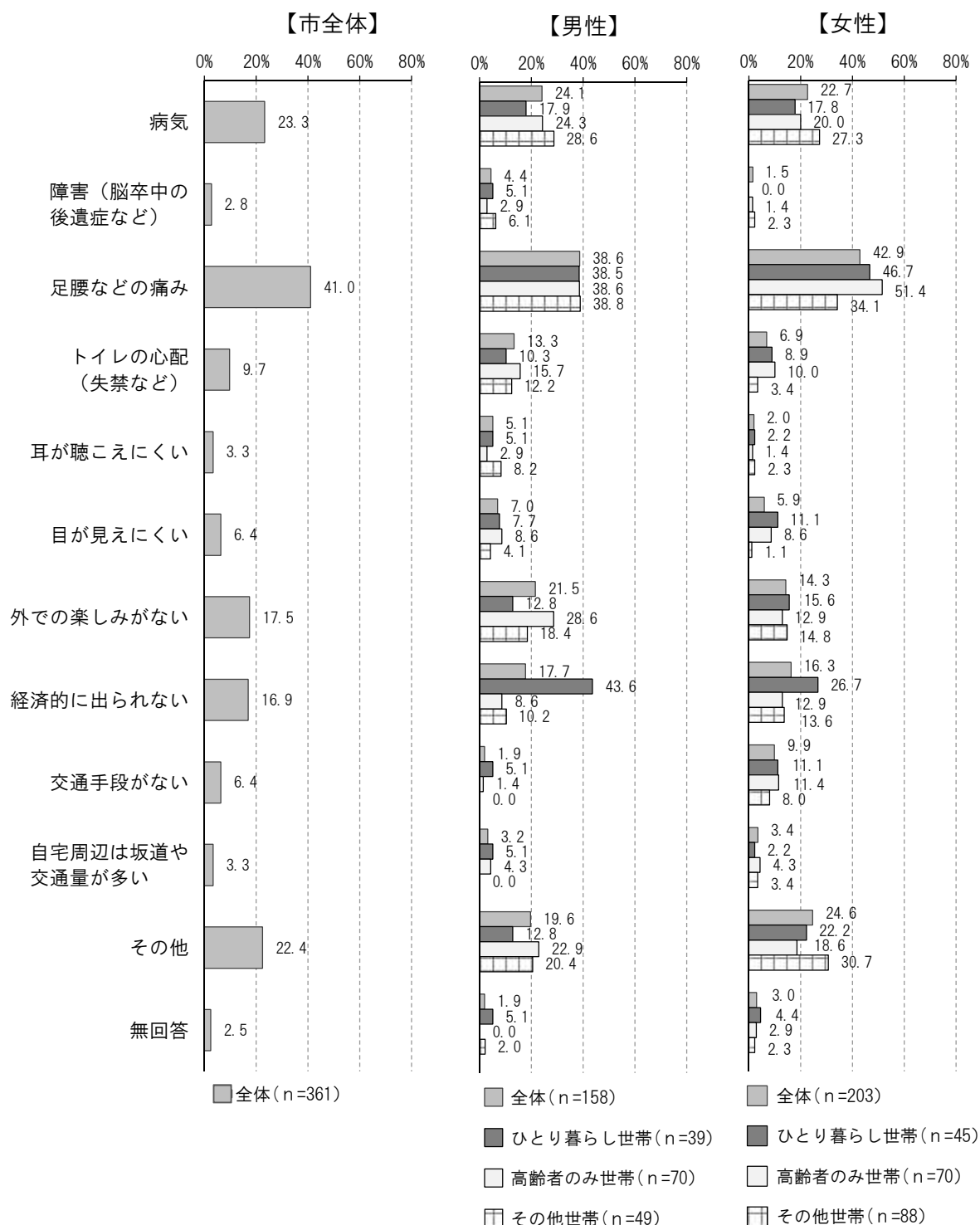


2-問7 (昨年と比べて外出の回数が減っている方のみ)

外出の回数が減っている理由はなんですか。※〇はいくつでも

外出が減った理由を市全体でみると、「足腰などの痛み」が41.0%で最も高く、次いで「病気」が23.3%となっています。性別・家族構成別にみると、男性ではひとり暮らし世帯で「経済的に出られない」が43.6%、女性の高齢者のみ世帯で「足腰などの痛み」が51.4%で最も高くなっています。

図4.6 外出が減った理由（性別・家族構成別）



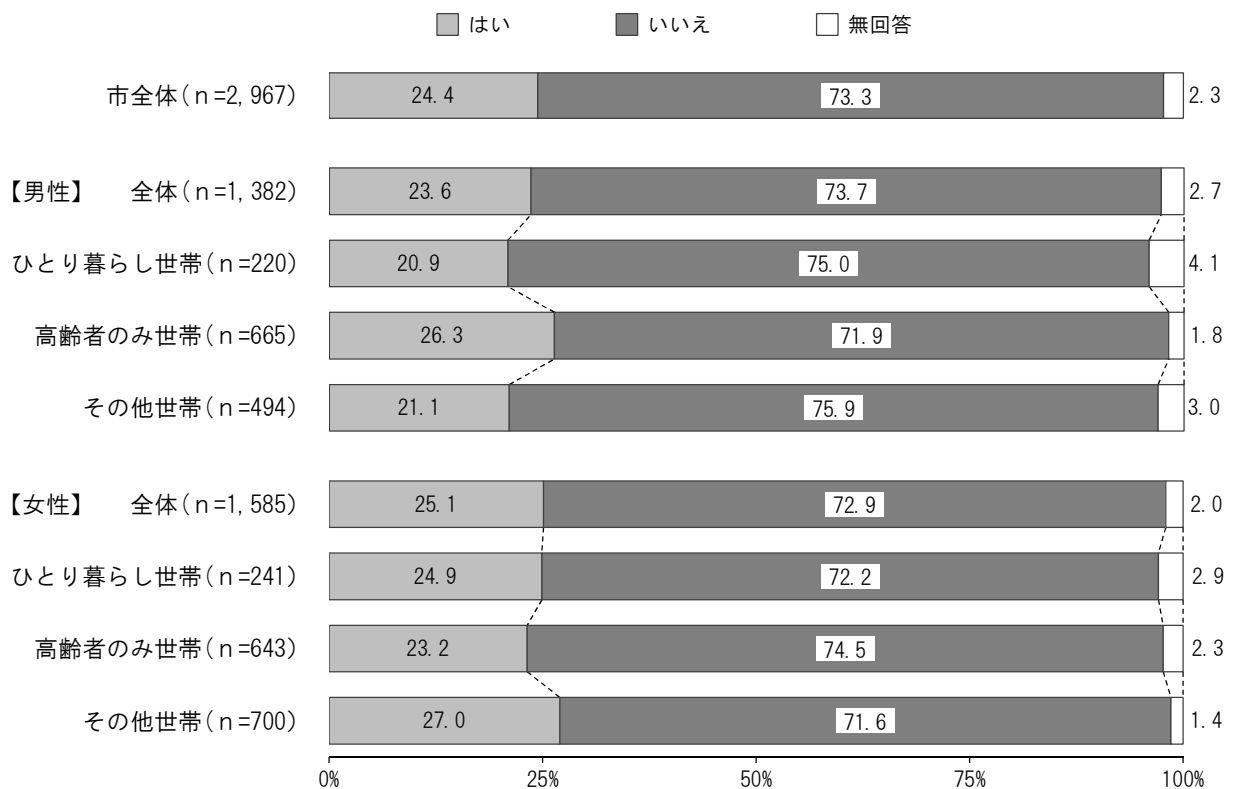
3 転倒について

3-問3 背中が丸くなってきましたか。

背中が丸くなってきたと回答した割合は、市全体で24.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性は高齢者のみ世帯が26.3%、女性はその他世帯で27.0%と最も高くなっています。

図 4.7 背中の状態（性別・家族構成別）

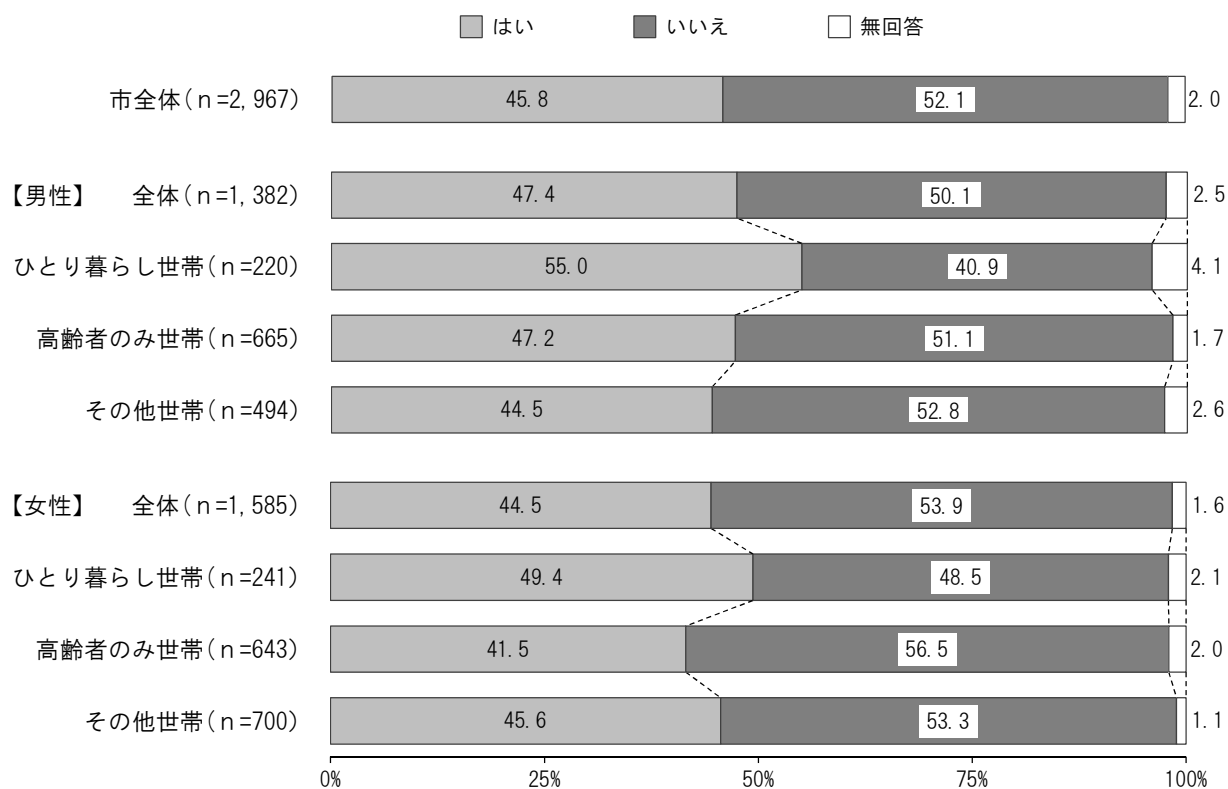


3-問4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

歩く速度が遅くなってきたと回答した割合は、市全体で45.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、歩く速度が遅くなった人の割合は男女ともに、ひとり暮らし世帯が最も高くなっています。

図 4.8 歩く速度の変化（性別・家族構成別）

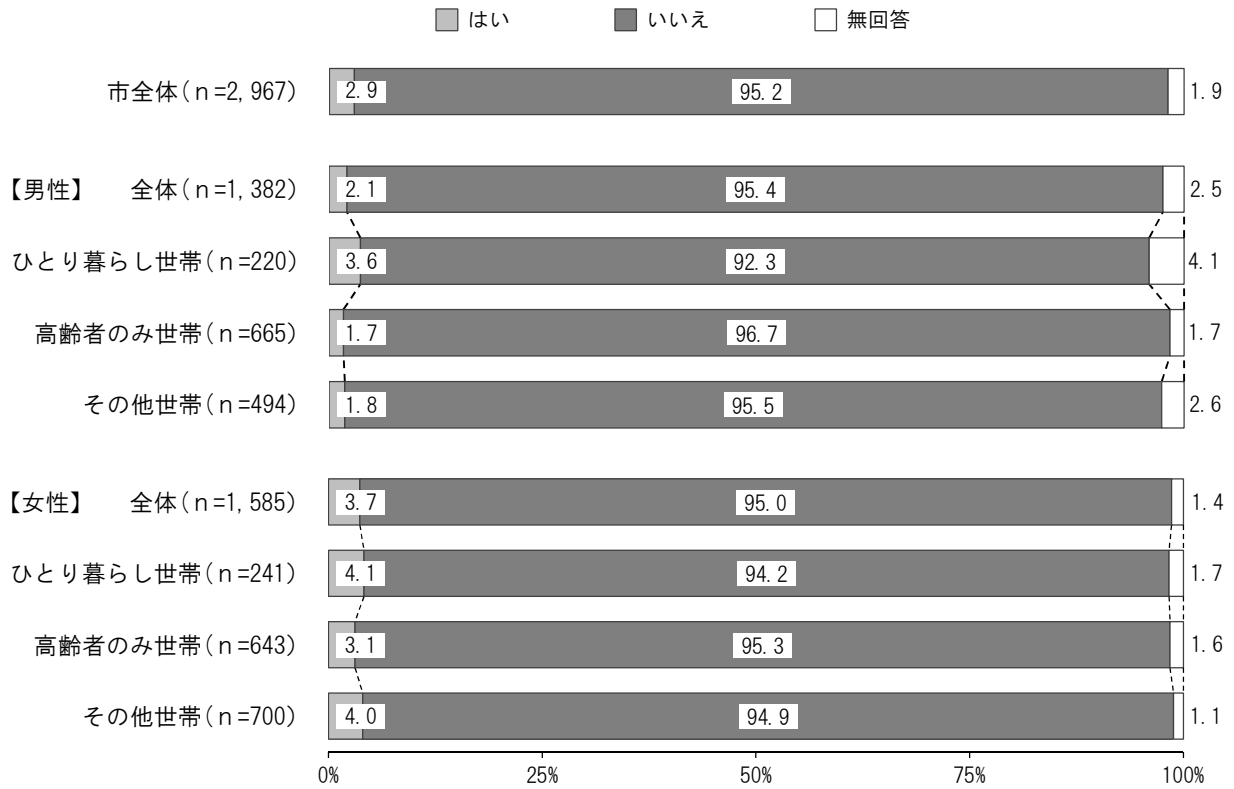


3-問5 杖を使っていますか。

杖の使用度は、市全体で2.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で他の家族構成と比べてやや高く、女性の割合が男性を上回っています。

図 4.9 杖の使用度（性別・家族構成別）



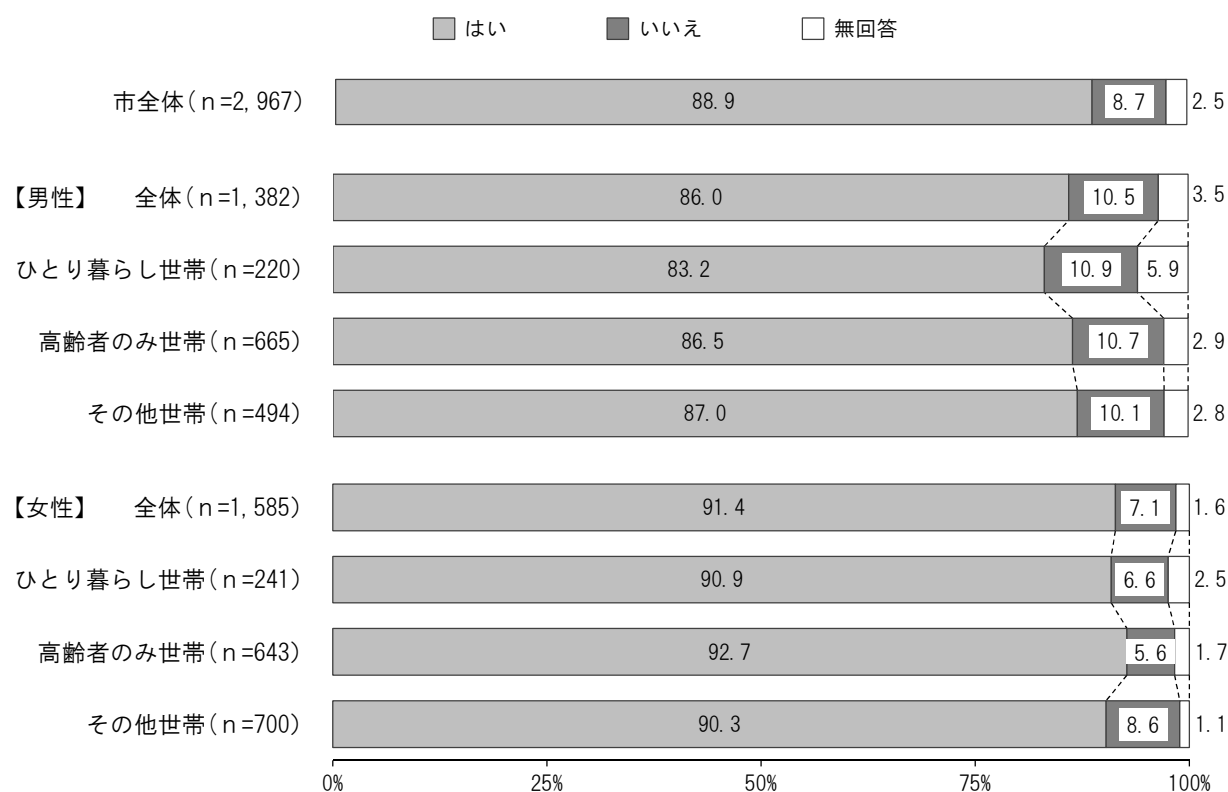
4 物忘れについて

5 問4 5分前のことが思い出せますか。

5分前のことが思い出せないと回答した割合は、市全体で8.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はひとり暮らし世帯が10.9%、女性はその他世帯が8.6%で最も高く、男性の割合が女性を上回っています。

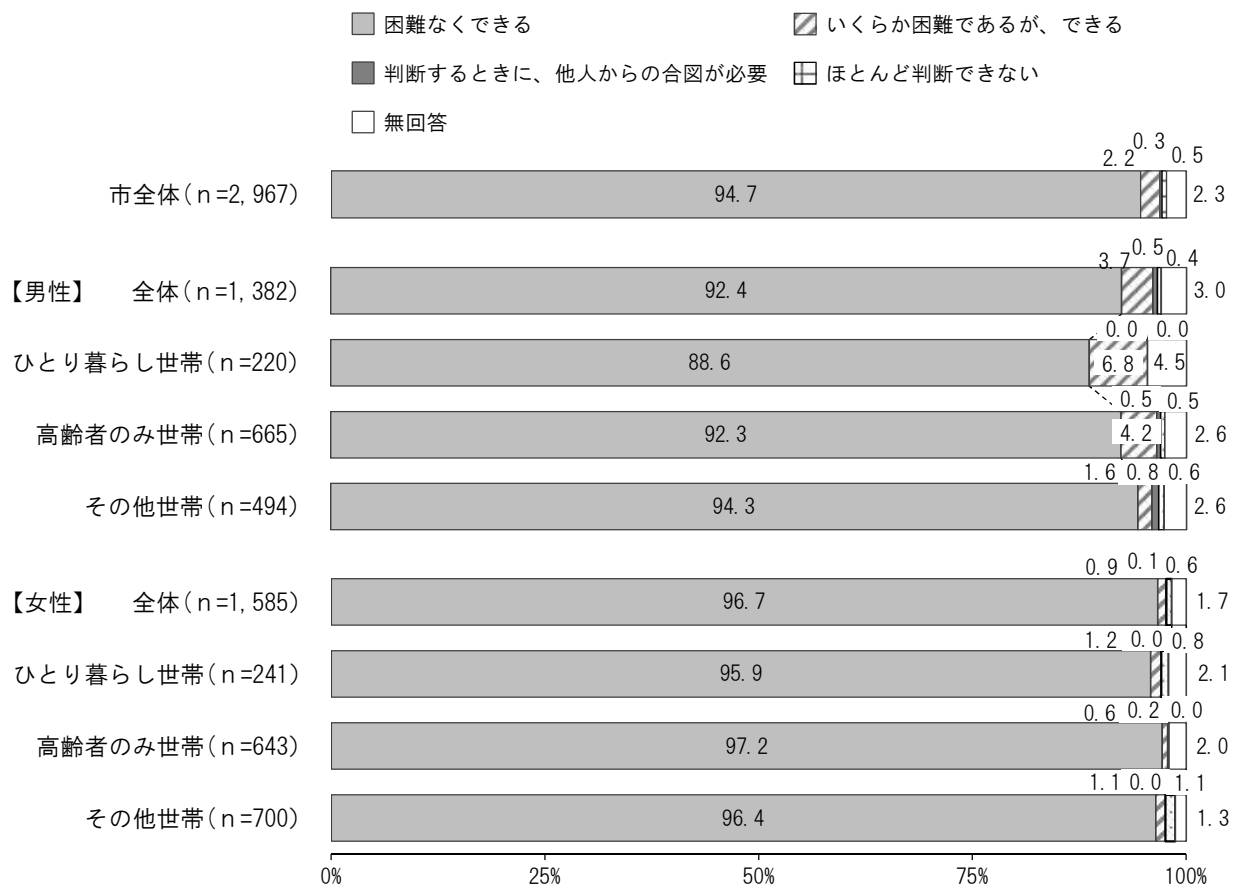
図 4.10 5分前の記憶の有無（性別・家族構成別）



5 問5 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

自分で日々の活動の判断ができると回答した割合は、市全体で94.7%となっています。
性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「困難なくできる」割合は他の家族構成と比べ、やや低くなっています。

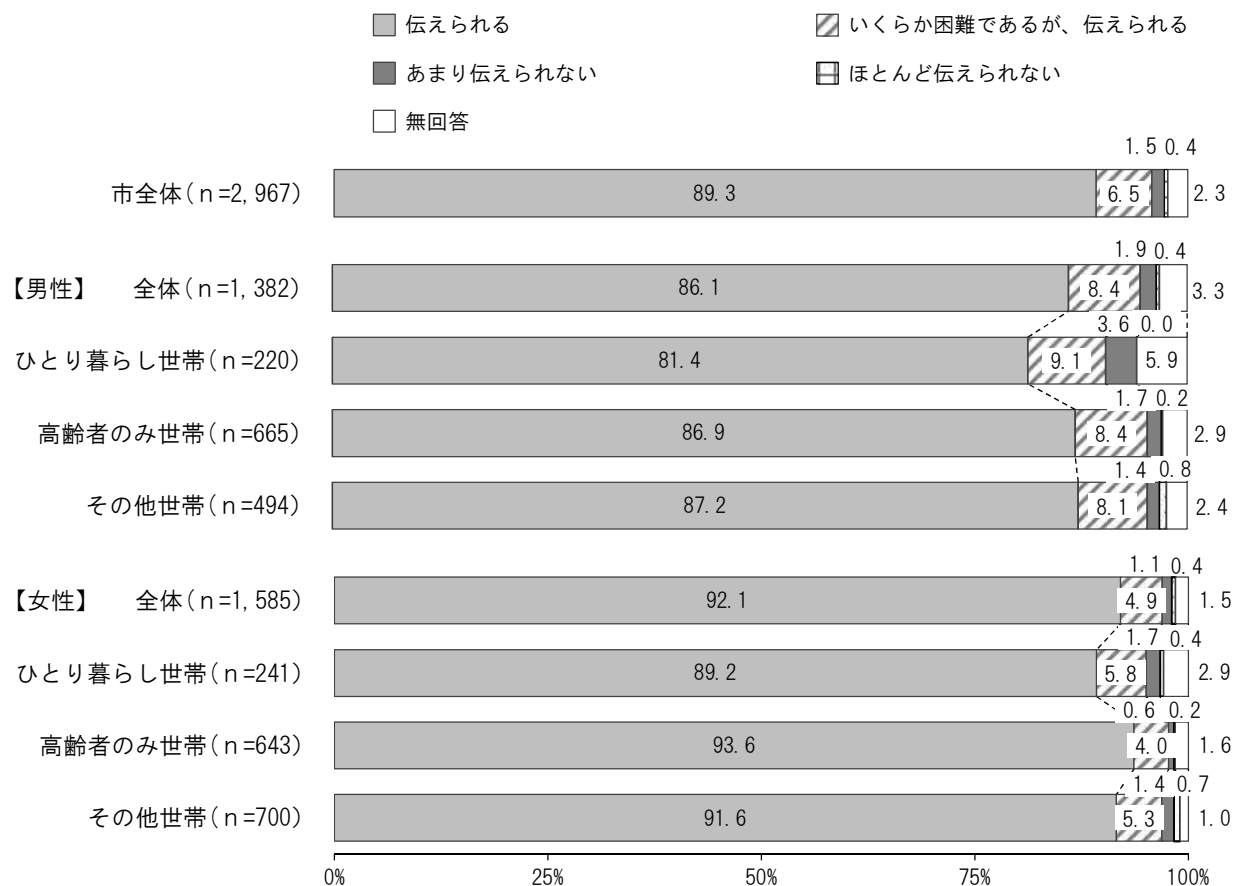
図 4.11 日々の活動の判断の可否（性別・家族構成別）



5-問6 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

人に自分の考えを「伝えられる」と回答した割合は、市全体で89.3%となっています。
性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で、「伝えられる」割合は他の
家族構成と比べてやや低くなっています。

図 4.12 意思の伝達の可否（性別・家族構成別）



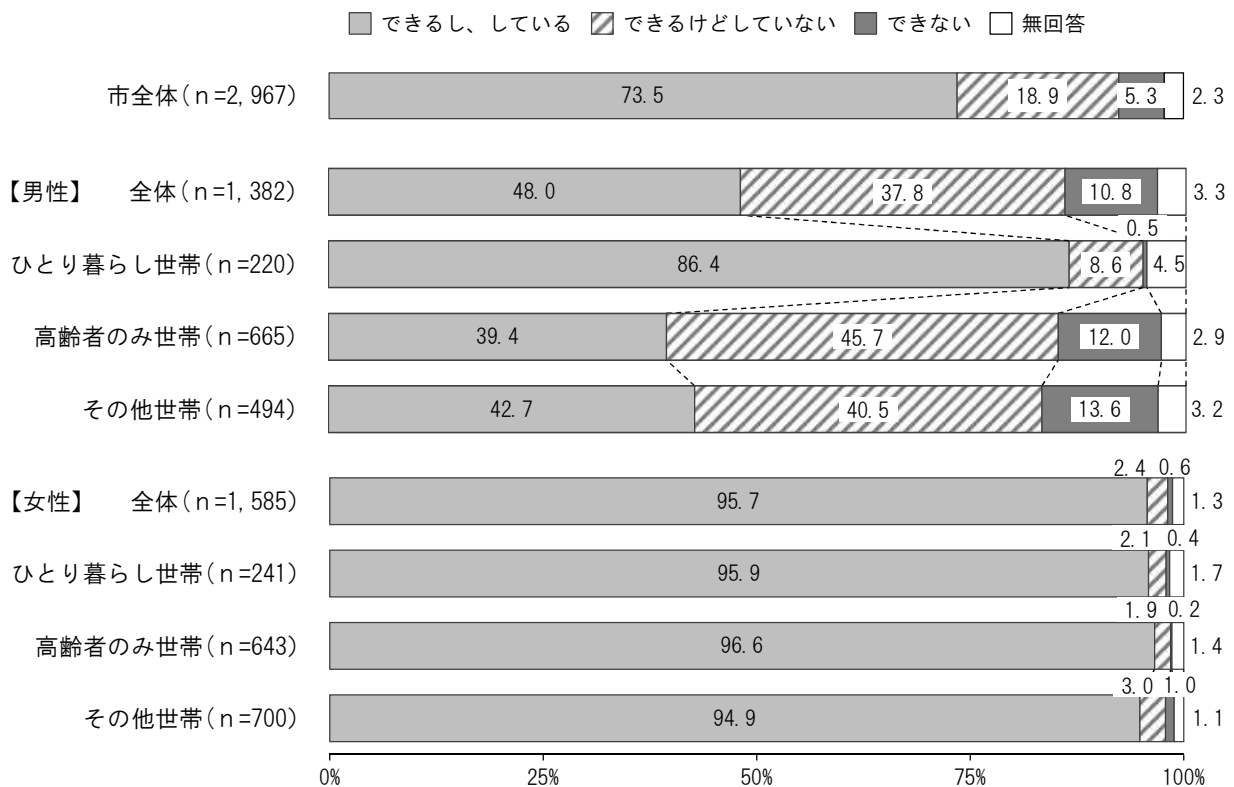
5 毎日の生活について

6-問3 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意が「できるし、している」と回答した割合は、市全体で73.5%となっています。「できない」は5.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はひとり暮らし世帯で「できるし、している」の割合が86.4%と他の家族構成と比べて高くなっています。一方で、高齢者のみ・その他世帯においては「できるけどしていない」と「できない」を合わせた割合が、「できるし、している」の割合を上回っています。

図 4.13 食事の用意の可否（性別・家族構成別）

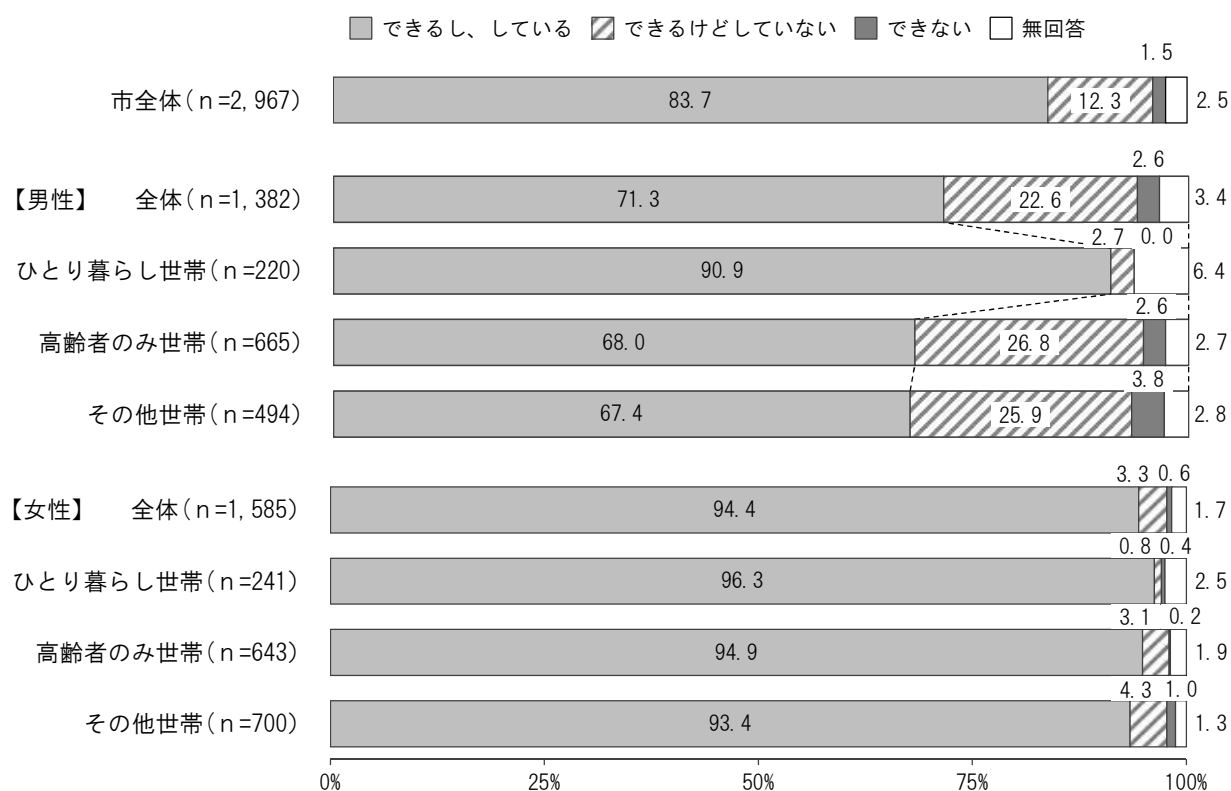


6-問4 請求書の支払いをしていますか。

請求書の支払いが「できるし、している」と回答した割合は、市全体で83.7%となっています。「できない」は1.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合は女性を上回り、高齢者のみ・その他世帯においては約3割となっています。

図 4.14 請求書の支払いの可否（性別・家族構成別）

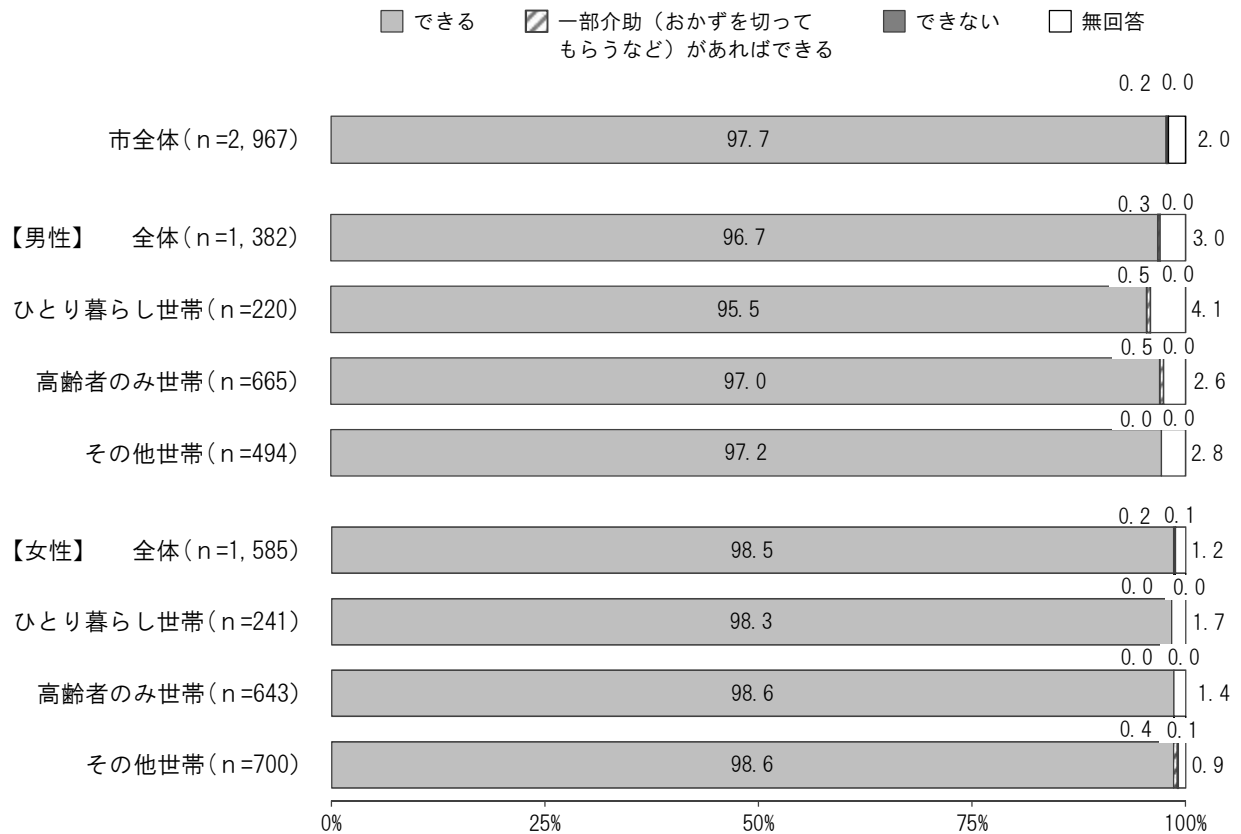


6-問6 食事は自分で食べられますか。

自分で食事が「できる」と回答した割合は、市全体で97.7%と大半を占め、「一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる」は0.2%となっています。

性別・家族構成別にみても、大きな差はみられません。

図 4.15 食事能力の有無（性別・家族構成別）

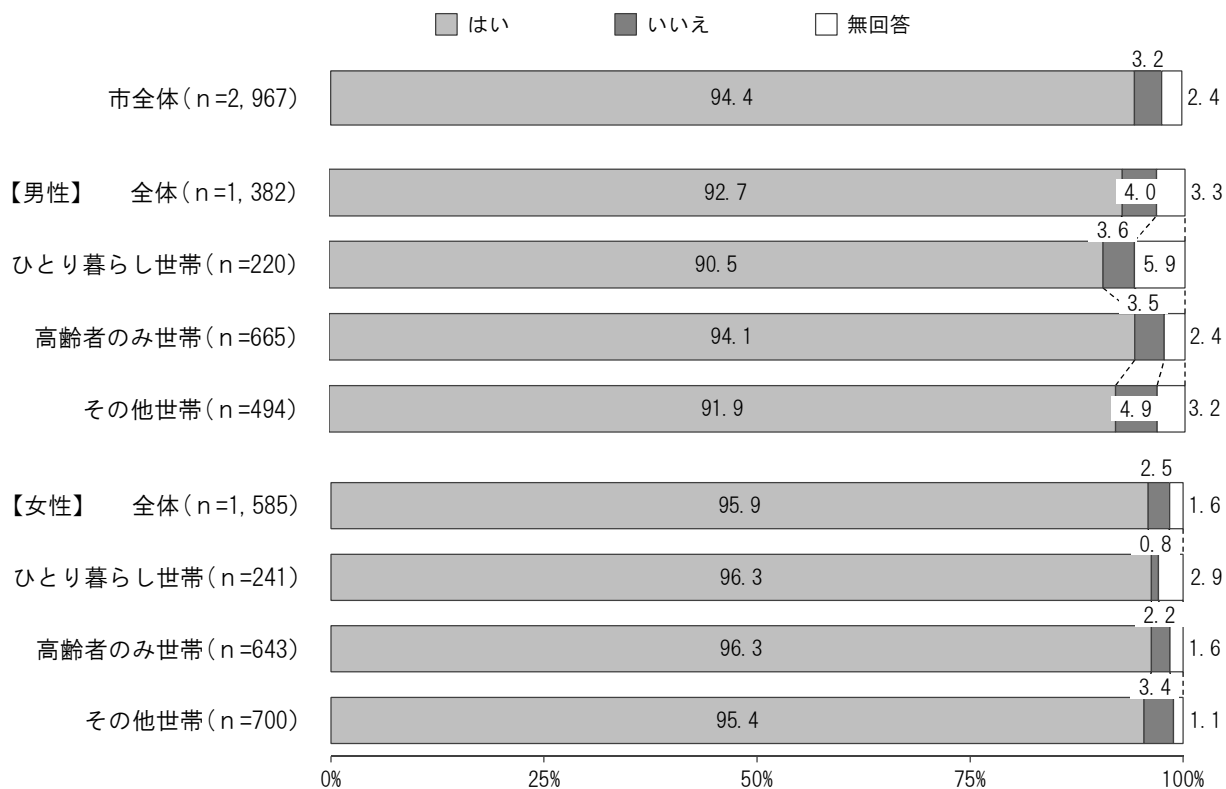


6－問7 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が「書ける」と回答した割合は市全体で94.4%、「いいえ」は3.2%となっています。

性別・家族構成別にみても、大きな差はみられません。

図 4.16 書類記入能力の有無（性別・家族構成別）

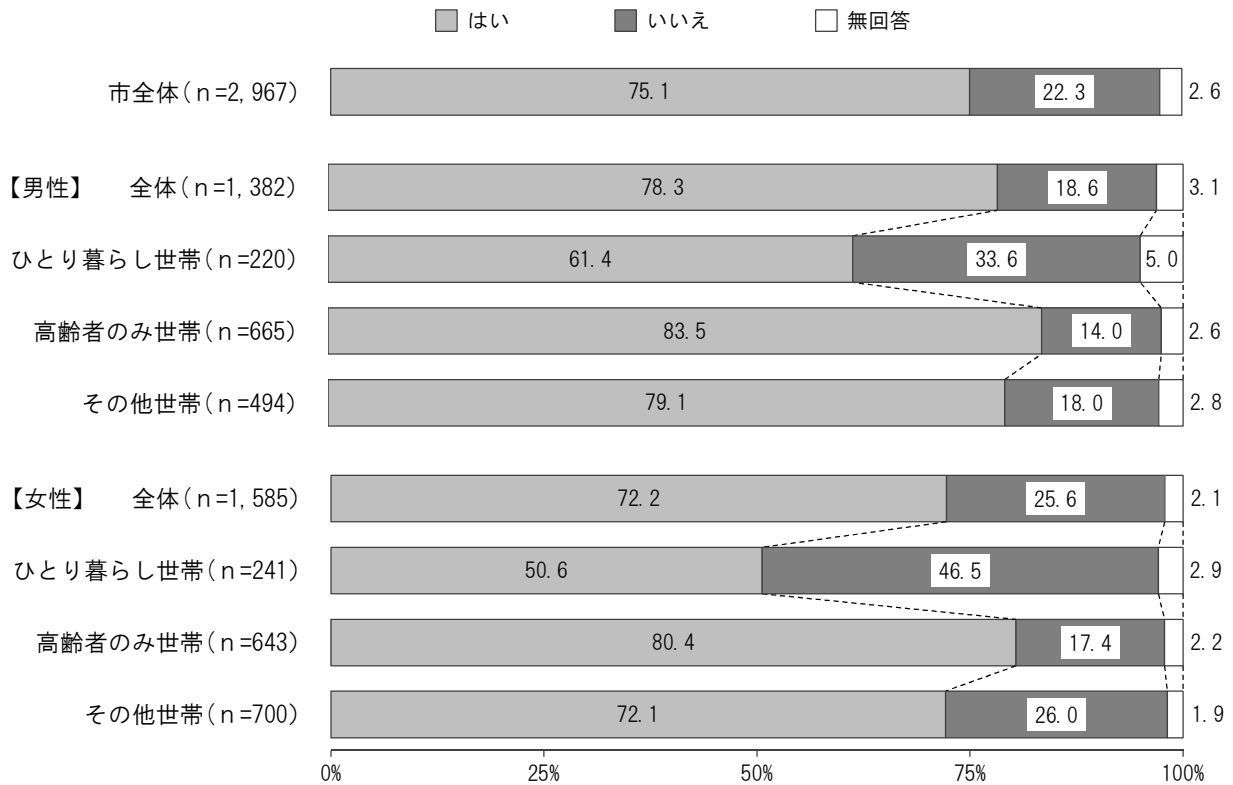


6-問8 新聞を読んでいますか。

新聞を読んでいると回答した割合は、市全体で「はい」が75.1%、「いいえ」が22.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、男女ともに、ひとり暮らし世帯で「いいえ」の割合が他の家族構成と比べて高く、男性で33.6%、女性で46.5%となっています。

図 4.17 新聞購読の有無（性別・家族構成別）

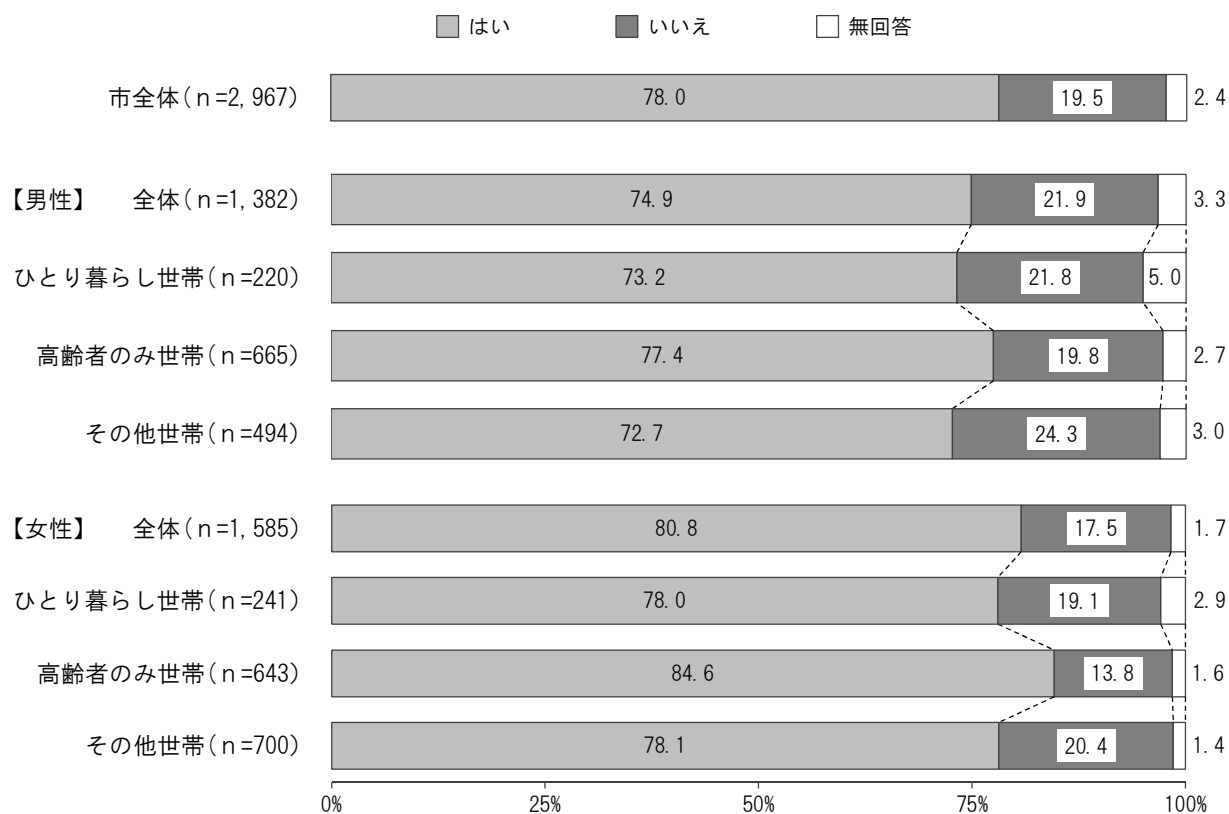


6-問9 本や雑誌を読んでいますか。

本や雑誌を読んでいると回答した割合は、市全体で「はい」が78.0%、「いいえ」が19.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、男女ともにその他世帯で「いいえ」の割合が他の家族構成と比べて高く、男性で24.3%、女性で20.4%となっています。

図 4.18 本や雑誌購読の有無（性別・家族構成別）

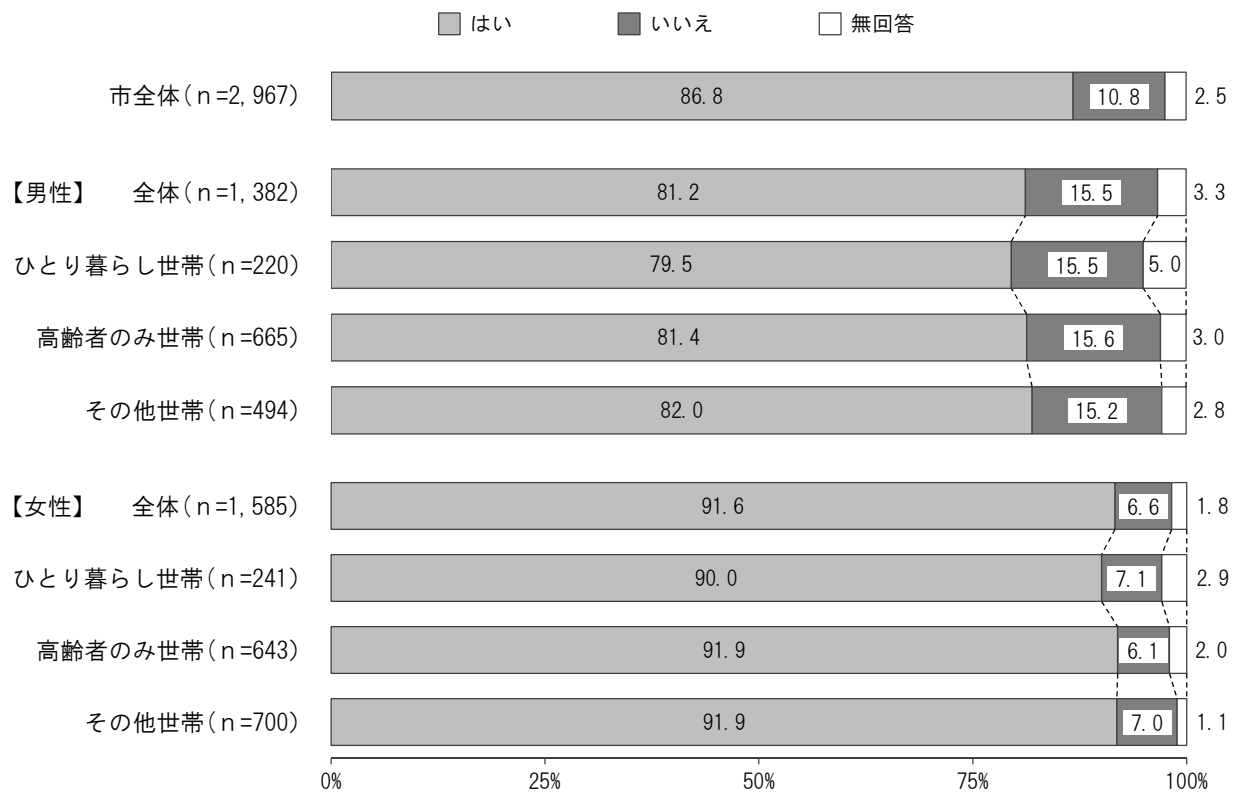


6-問10 健康についての記事や番組に関心がありますか。

健康についての記事や番組への関心があると回答した割合は、市全体で「はい」が86.8%、「いいえ」が10.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「いいえ」は全ての家族構成で女性を上回っており、15%を超えています。

図 4.19 健康についての記事や番組の関心の有無（性別・家族構成別）

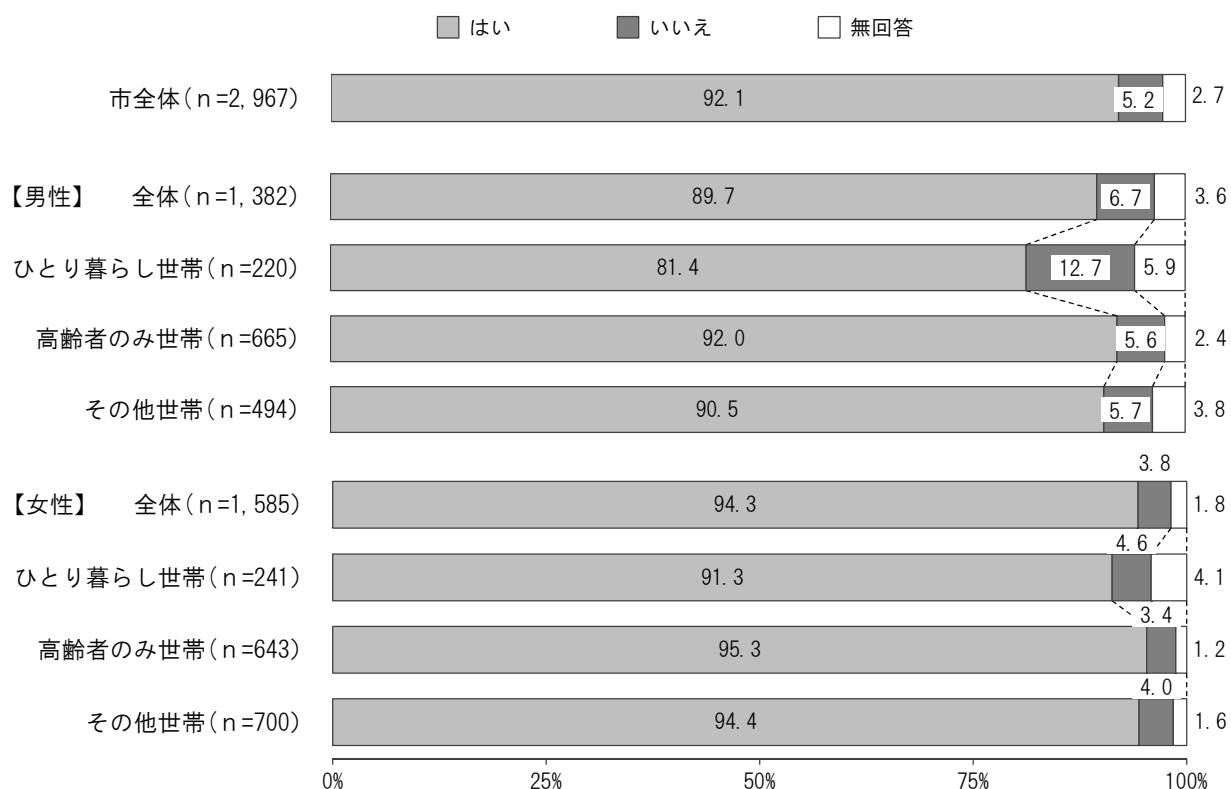


6-問13 病人を見舞うことができますか。

病人を見舞うことができると回答した割合は、市全体で「はい」が92.1%、「いいえ」が5.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、「いいえ」と回答した割合は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。特に、ひとり暮らし世帯が12.7%と他の家族構成より高くなっています。

図 4.20 病人を見舞うことの有無（性別・家族構成別）

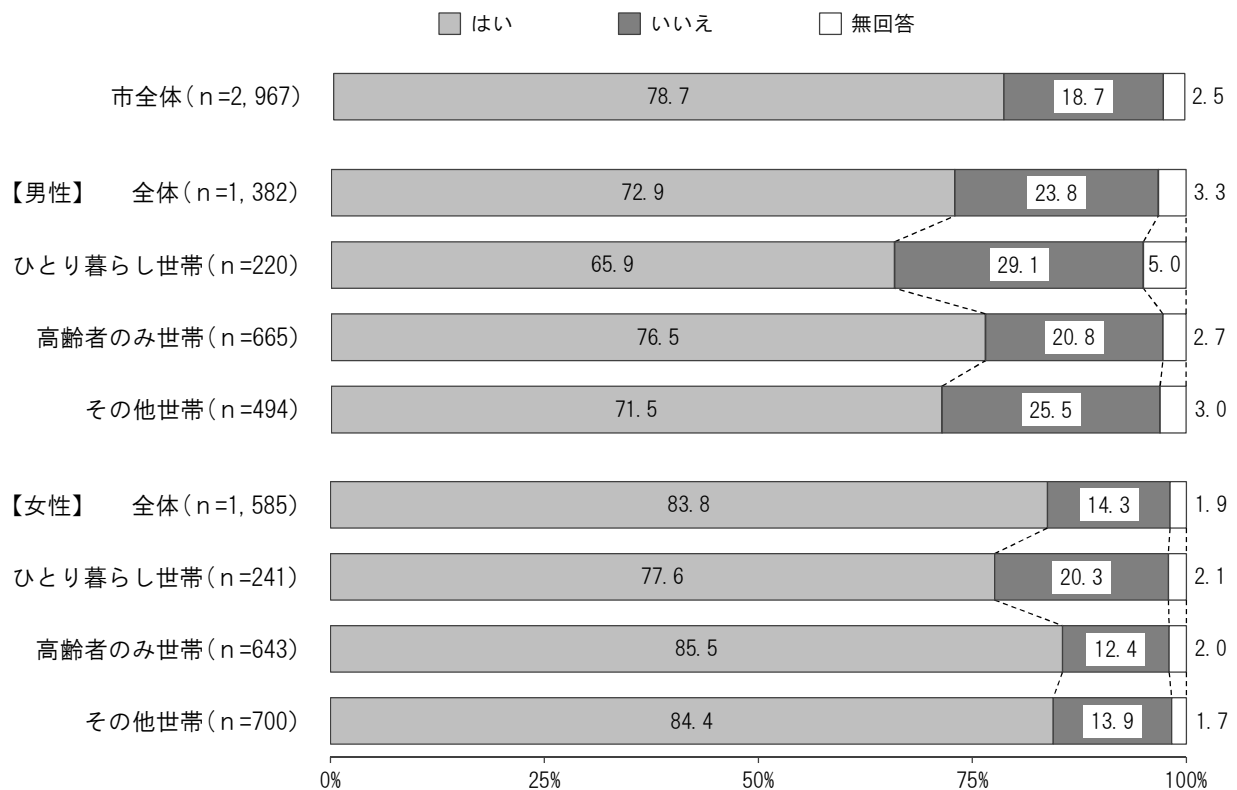


6-問14 若い人に自分から話しかけることがありますか。

若い人に自分から話しかけることがあると回答した割合は、市全体で「はい」が78.7%、「いいえ」が18.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、「いいえ」の割合は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。また、男女ともにひとり暮らし世帯での割合が高くなっています。

図 4.21 若い人に話しかけることの有無（性別・家族構成別）



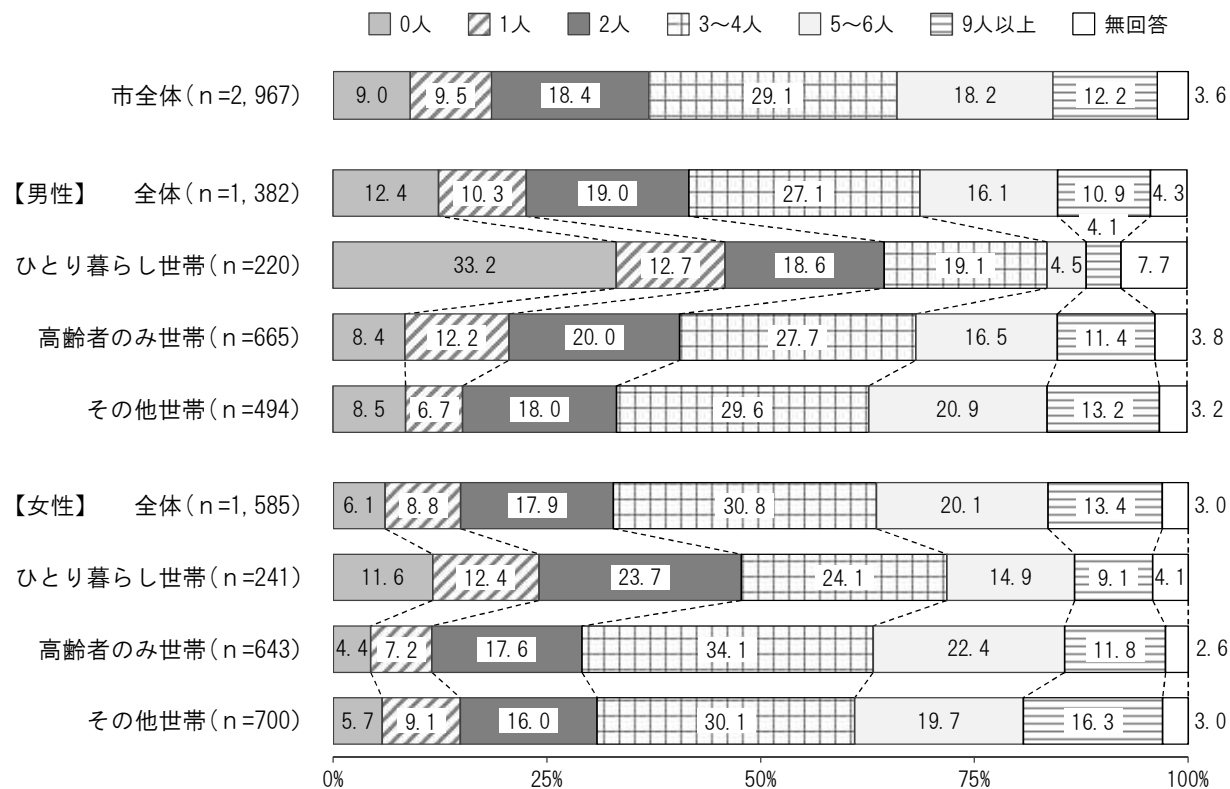
問15から問20について、あてはまる人数はどのくらいですか。

6-問15 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする親戚や兄弟

月に1回、会ったり、話をする親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が29.1%で最も高く、次いで「2人」が18.4%、「5～6人」が18.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「0人」が33.2%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図4.22 会ったり、話をする親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

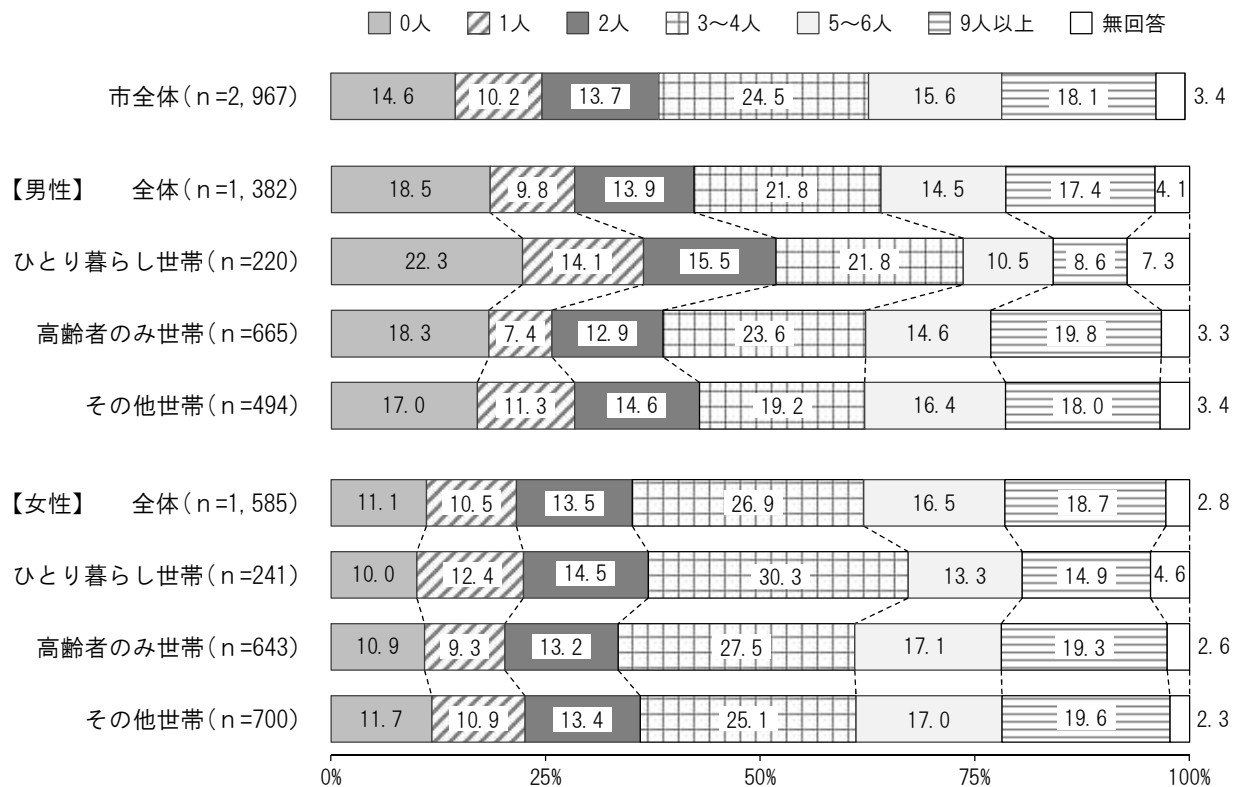


6-問 16 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人

月に1回、会ったり、話をする友人の人数は、市全体では「3～4人」が24.5%で最も高く、次いで「9人以上」が18.1%、「5～6人」が15.6%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」の割合は全ての家族構成で男性が女性を上回っています。また、「1人」「2人」は男性のひとり暮らし世帯で他の家族構成と比べて高く、「3人以上」は全ての家族構成において女性が男性を上回っています。

図 4.23 会ったり、話をする友人の人数（性別・家族構成別）

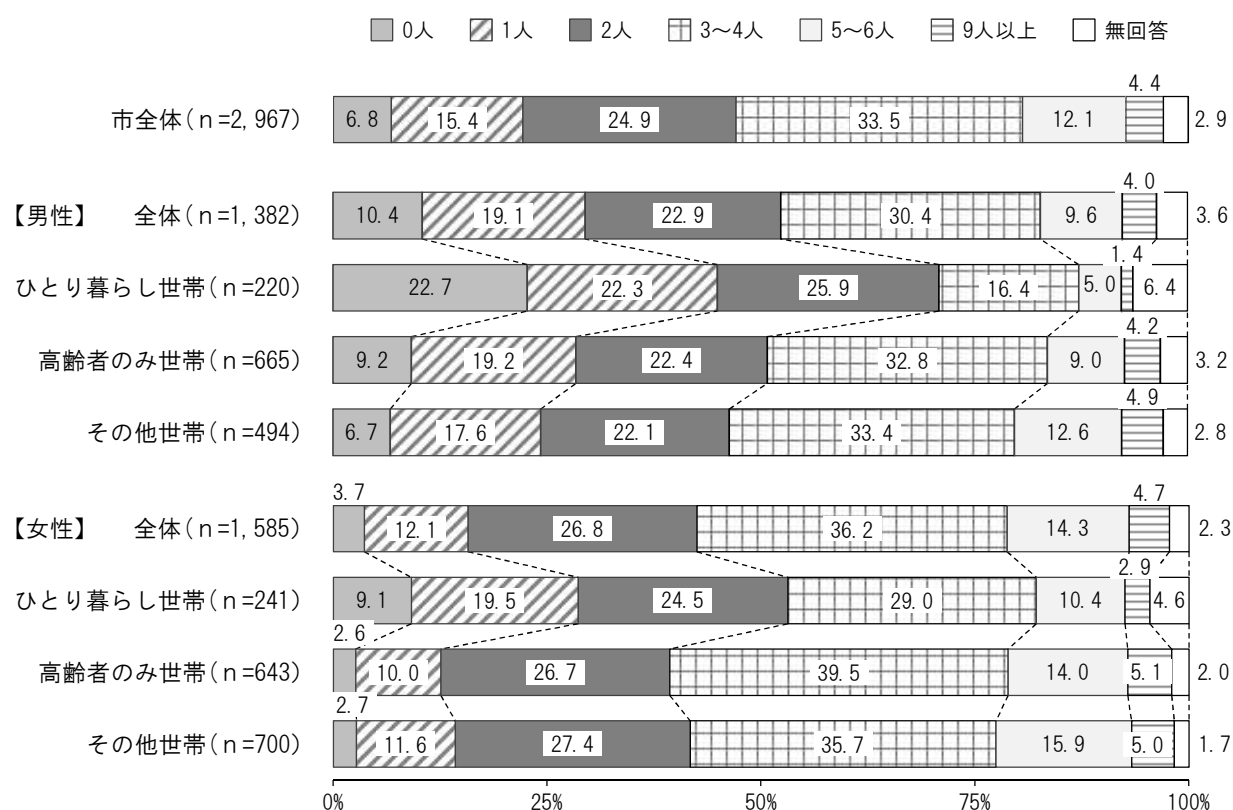


6-問17 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話することができる親戚や兄弟

個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が33.5%で最も高く、次いで「2人」が24.9%、「1人」が15.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男性のひとり暮らし世帯で22.7%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.24 個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

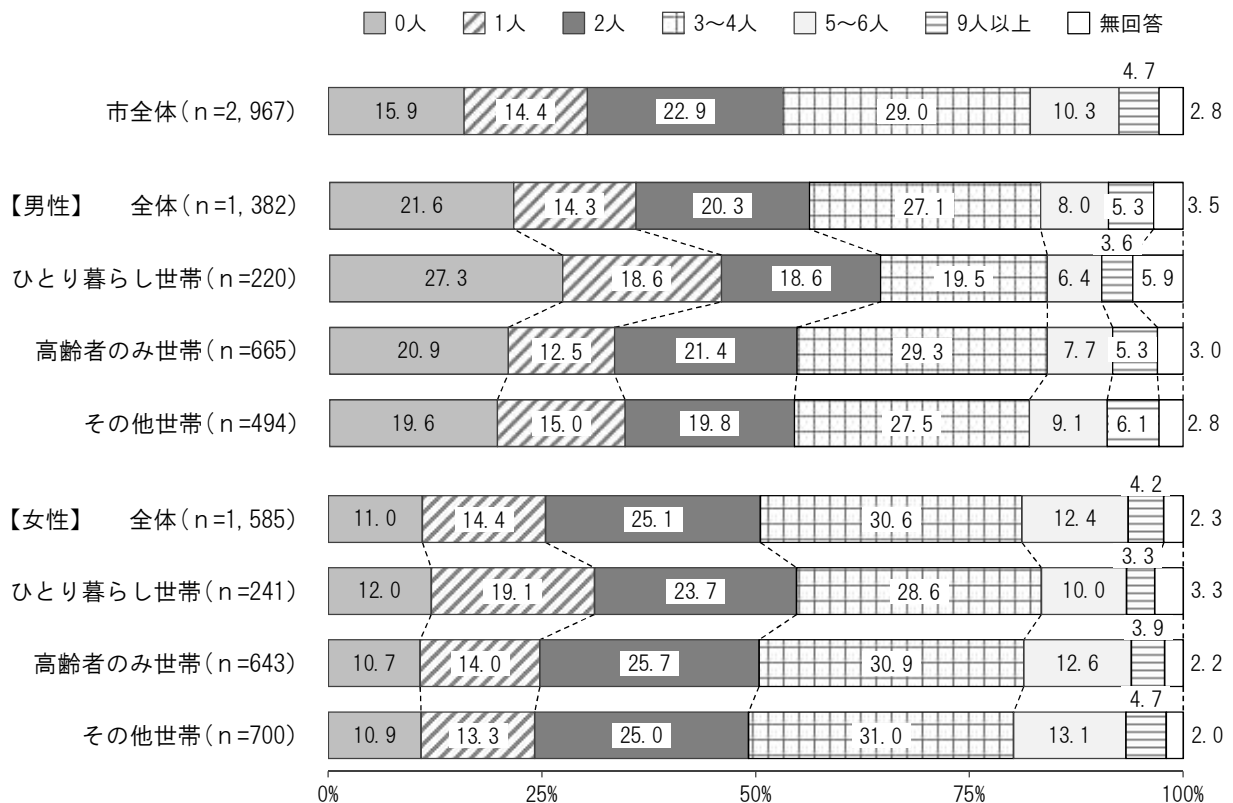


6-問18 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話することができる友人

個人的なことを気兼ねなく話せる友人の人数は、市全体では「3～4人」が29.0%で最も高く、次いで「2人」が22.9%、「0人」が15.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男性のひとり暮らし世帯で27.3%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.25 個人的なことを話せる友人の人数（性別・家族構成別）

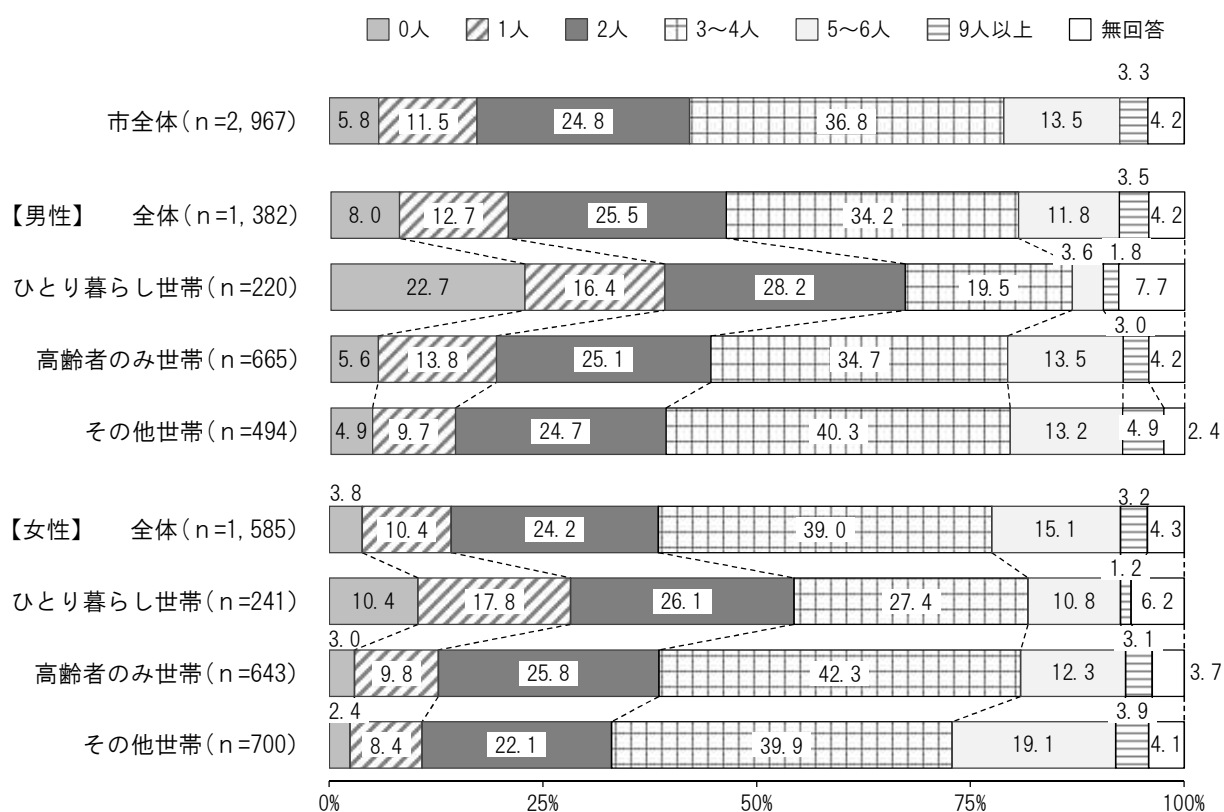


6-問 19 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる親戚や兄弟

助けを求めることができる身近な親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が36.8%で最も高く、次いで「2人」が24.8%、「5～6人」が13.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男女ともにひとり暮らし世帯が他の家族構成と比べて高く、男性で22.7%、女性で10.4%となっています。

図 4.26 助けを求めるくらい身近な親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

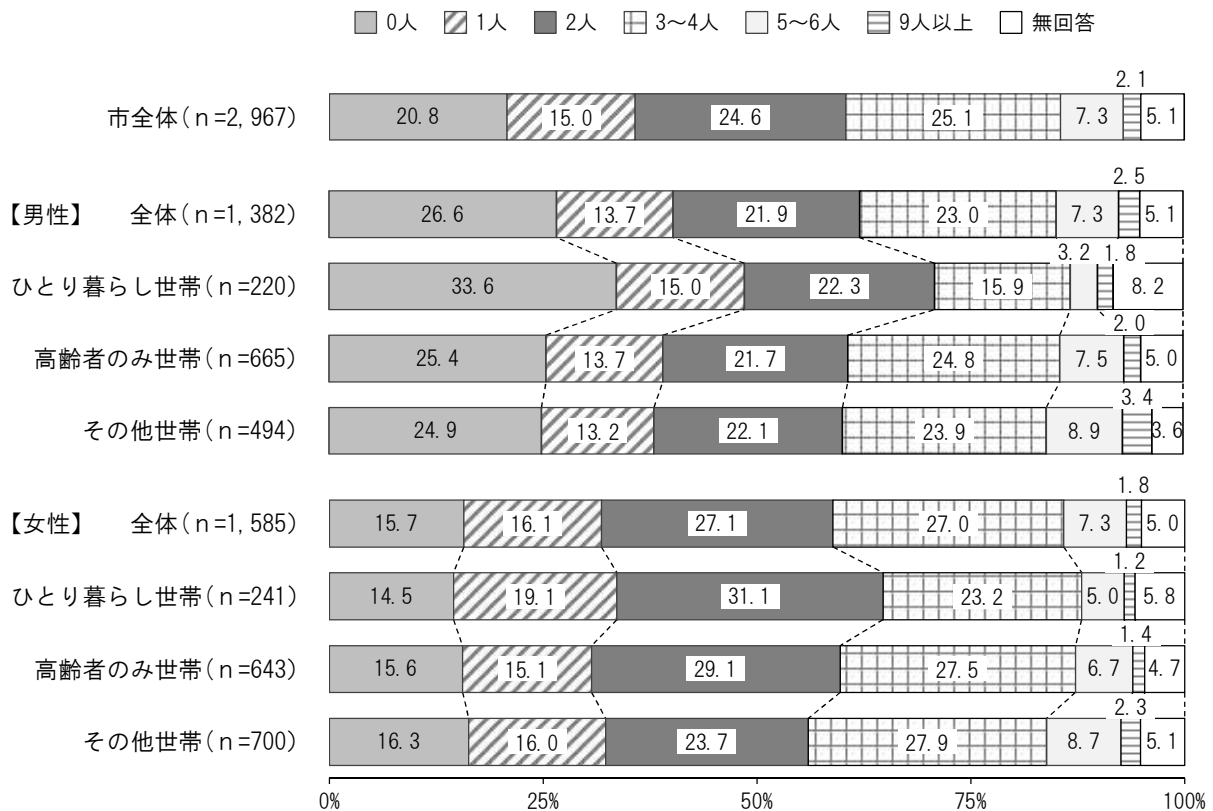


6-問 20 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる友人

助けを求めることができる身近な友人の人数は、市全体では「3～4人」が25.1%で最も高く、次いで「2人」が24.6%、「0人」が20.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」の割合は男性が女性を上回っています。特に男性のひとり暮らし世帯で33.6%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.27 助けを求めるくらい身近な友人の人数（性別・家族構成別）

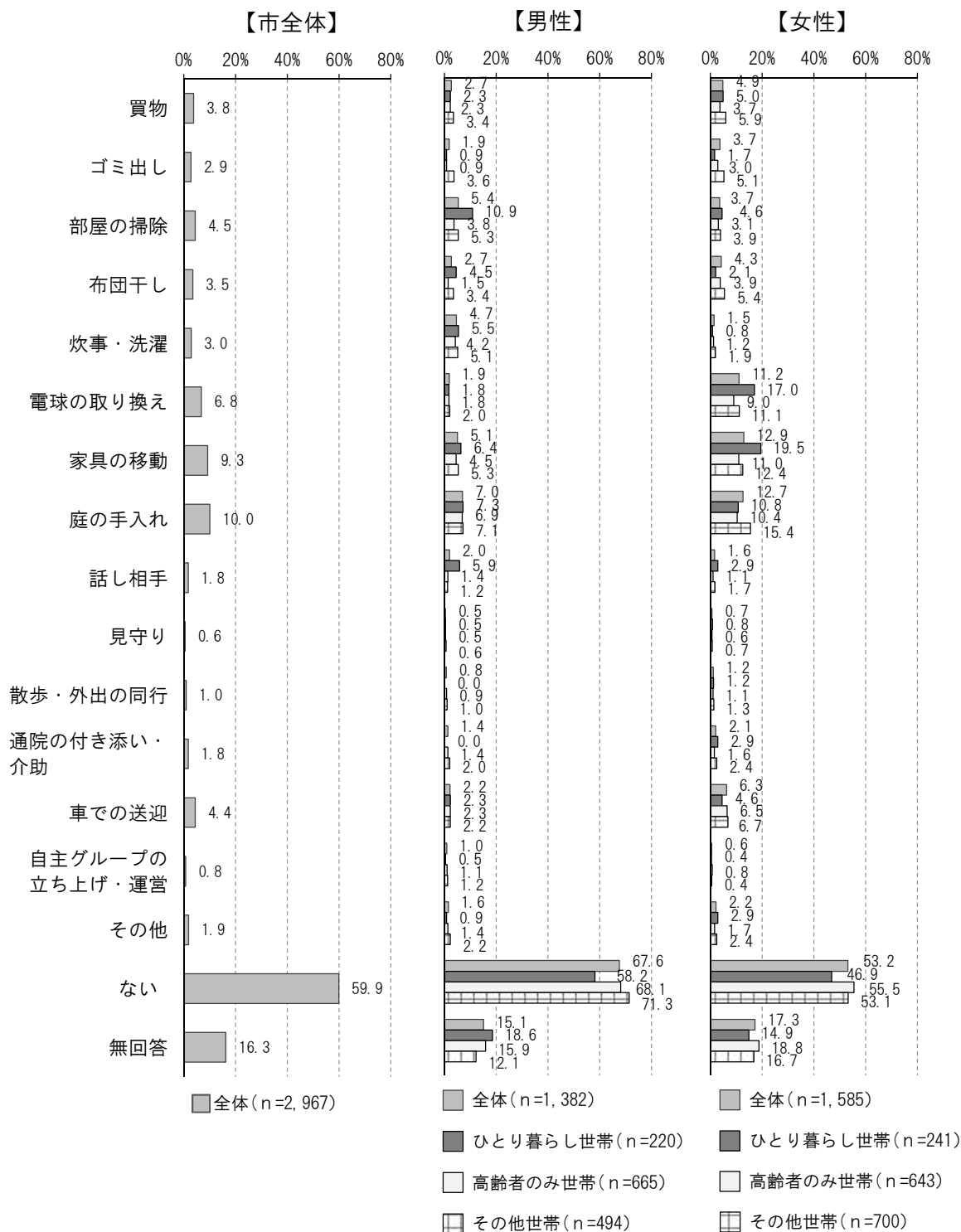


6 一問 21 日常生活で手助けをしてほしいことはありますか。※○はいくつでも

日常生活で手助けをしてほしいことは、市全体では「庭の手入れ」が10.0%で最も高く、次いで「家具の移動」が9.3%となっています。「ない」は59.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯では「部屋の掃除」が10.9%、女性のひとり暮らし世帯では「家具の移動」が19.5%で最も高くなっています。

図 4.28 日常生活で手助けをしてほしいこと（性別・家族構成別）



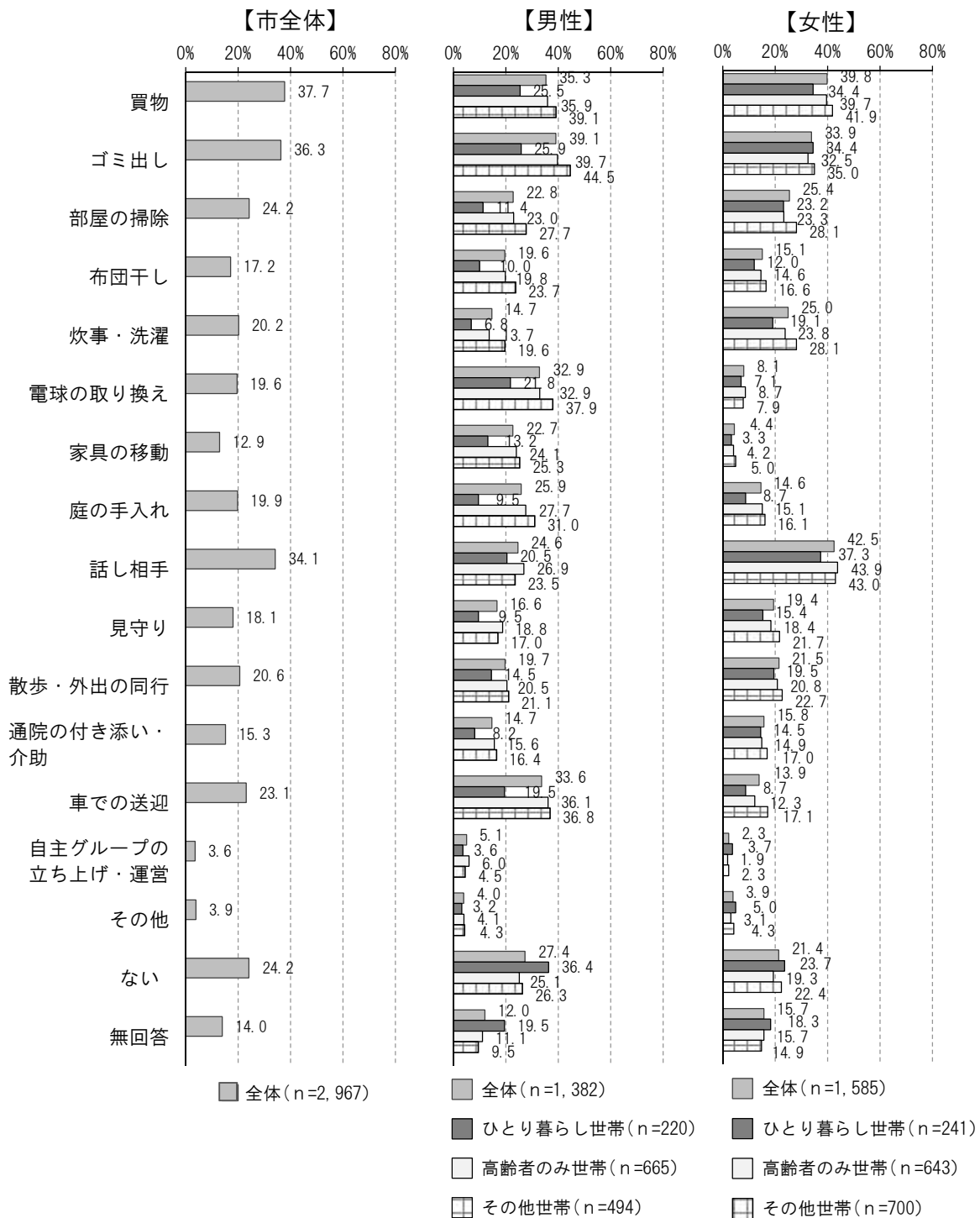
6 一問 22 日常生活で誰かの手助けができることはありますか。

※〇はいくつでも

日常生活で誰かの手助けとしてできることは、市全体では「買物」が37.7%で最も高く、次いで「ゴミ出し」が36.3%、「話し相手」が34.1%となっています。「ない」は24.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はその他世帯の「ゴミ出し」が44.5%で最も高く、女性は高齢者のみ世帯の「話し相手」が43.9%で最も高くなっています。

図 4.29 日常生活で手助けできること（性別・家族構成別）



6 地域での活動について

問1から問7について、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

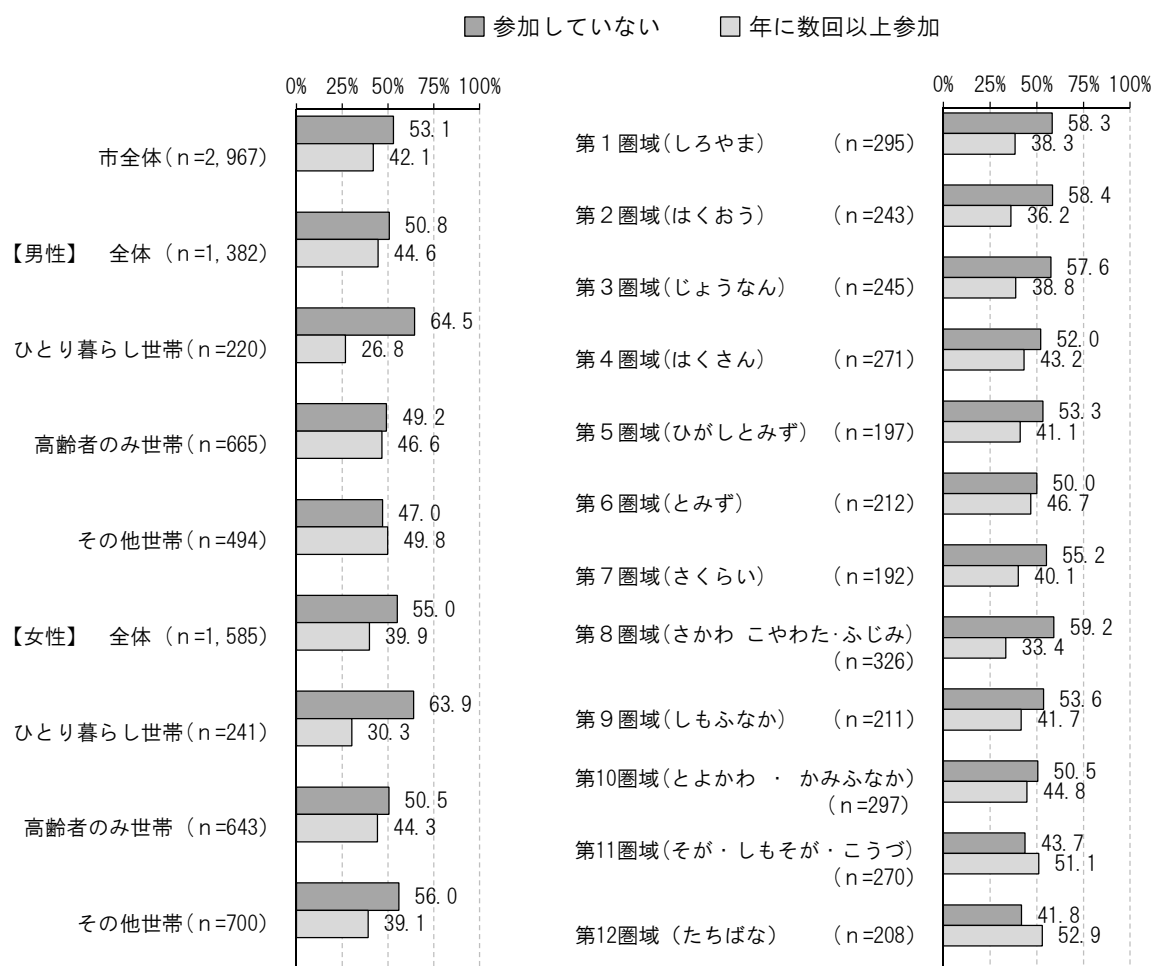
7-問1 自治会

自治会の参加頻度について、市全体では「参加していない」が53.1%、「年に数回以上参加」が42.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、全体では「参加していない」は女性が男性を上回り、家族構成別ではひとり暮らし世帯が男女ともに他と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で59.2%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）で52.9%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.30 自治会の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

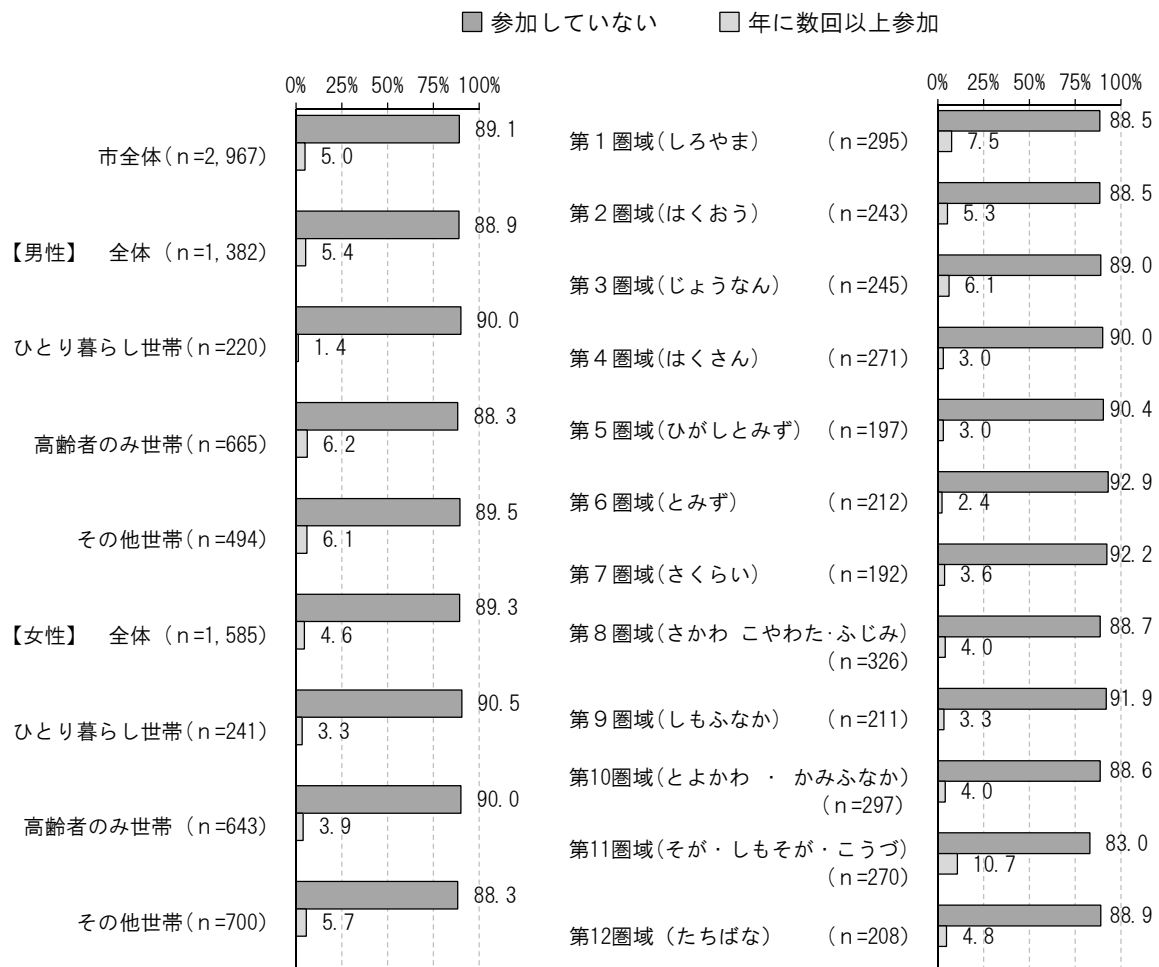
7-問2 老人会、老人(高齢者)クラブ

老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度は、市全体では「参加していない」が89.1%、「年に数回以上参加」が5.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男女ともにひとり暮らし世帯で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第6圏域(とみず)で92.9%、「年に数回以上参加」は第11圏域(そが・しもそが・こうづ)で10.7%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.31 老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度(性別・家族構成別/日常生活圏域別)



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

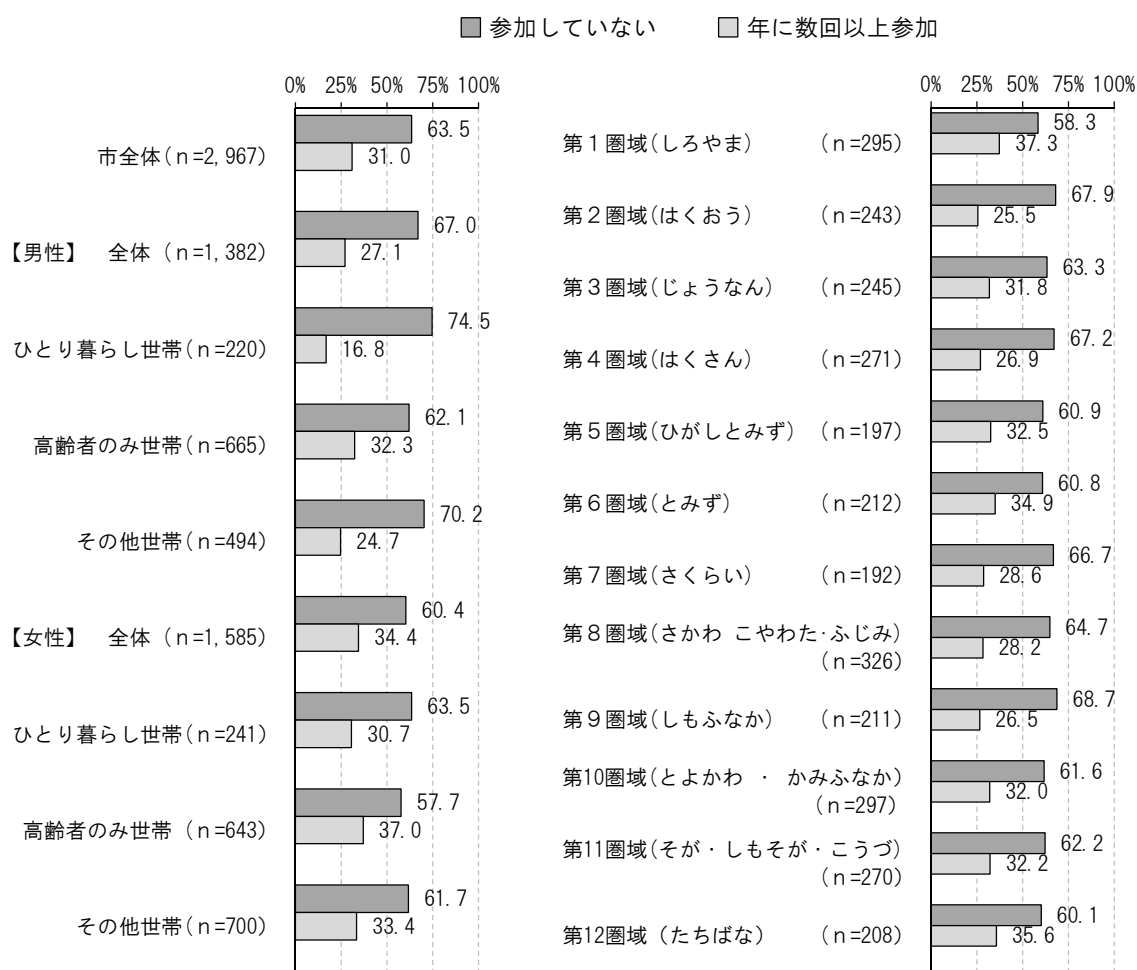
7-問3 趣味のサークルや団体

趣味のサークルや団体の参加頻度は、市全体では「参加していない」が63.5%、「年に数回以上参加」が31.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男女ともにひとり暮らし世帯で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第9圏域（しもふなか）で68.7%、「年に数回以上参加」は第1圏域（しろやま）で37.3%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.32 趣味のサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

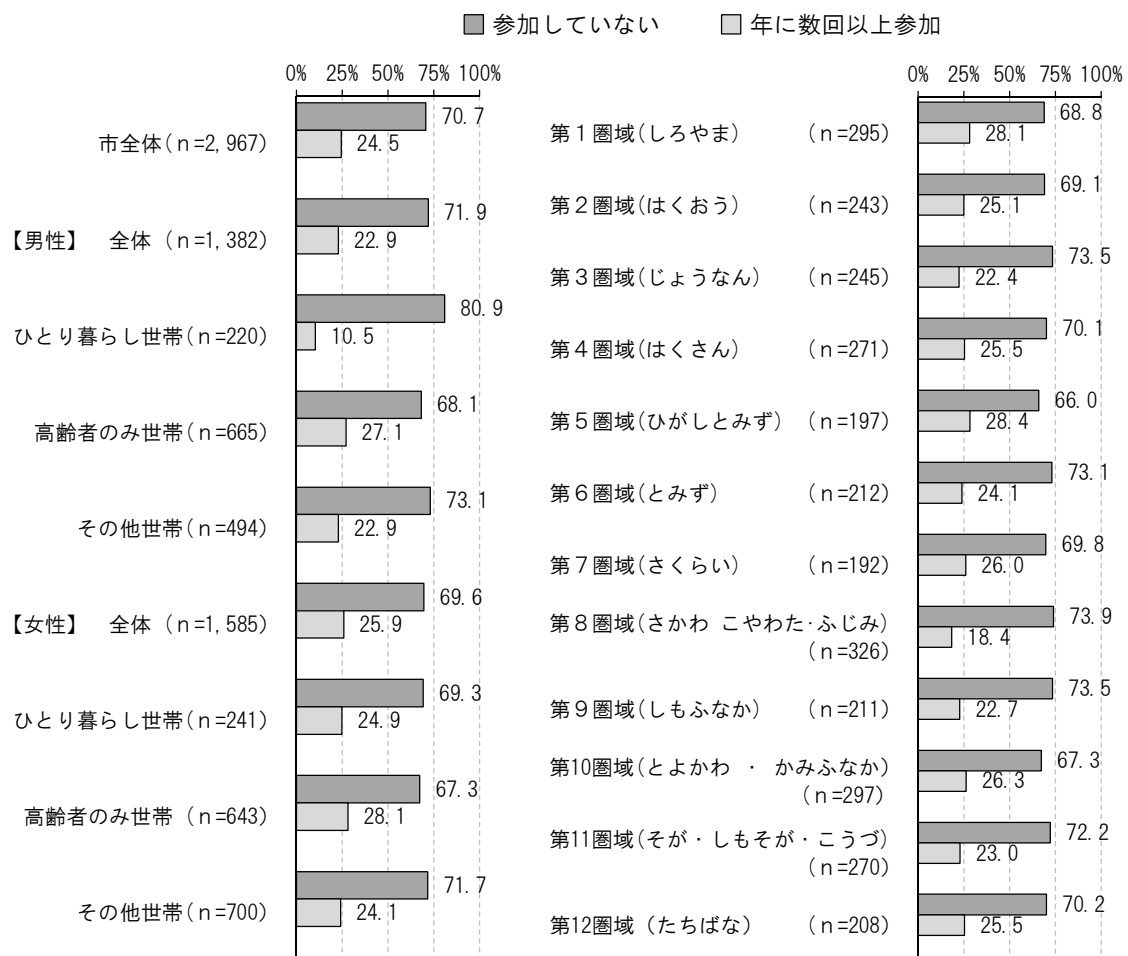
7-問4 スポーツのサークルや団体

スポーツのサークルや団体への参加頻度は、市全体では「参加していない」が70.7%、「年に数回以上参加」が24.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性のひとり暮らし世帯で80.9%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で73.9%、「年に数回以上参加」は第5圏域（ひがしとみず）で28.4%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.33 スポーツのサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

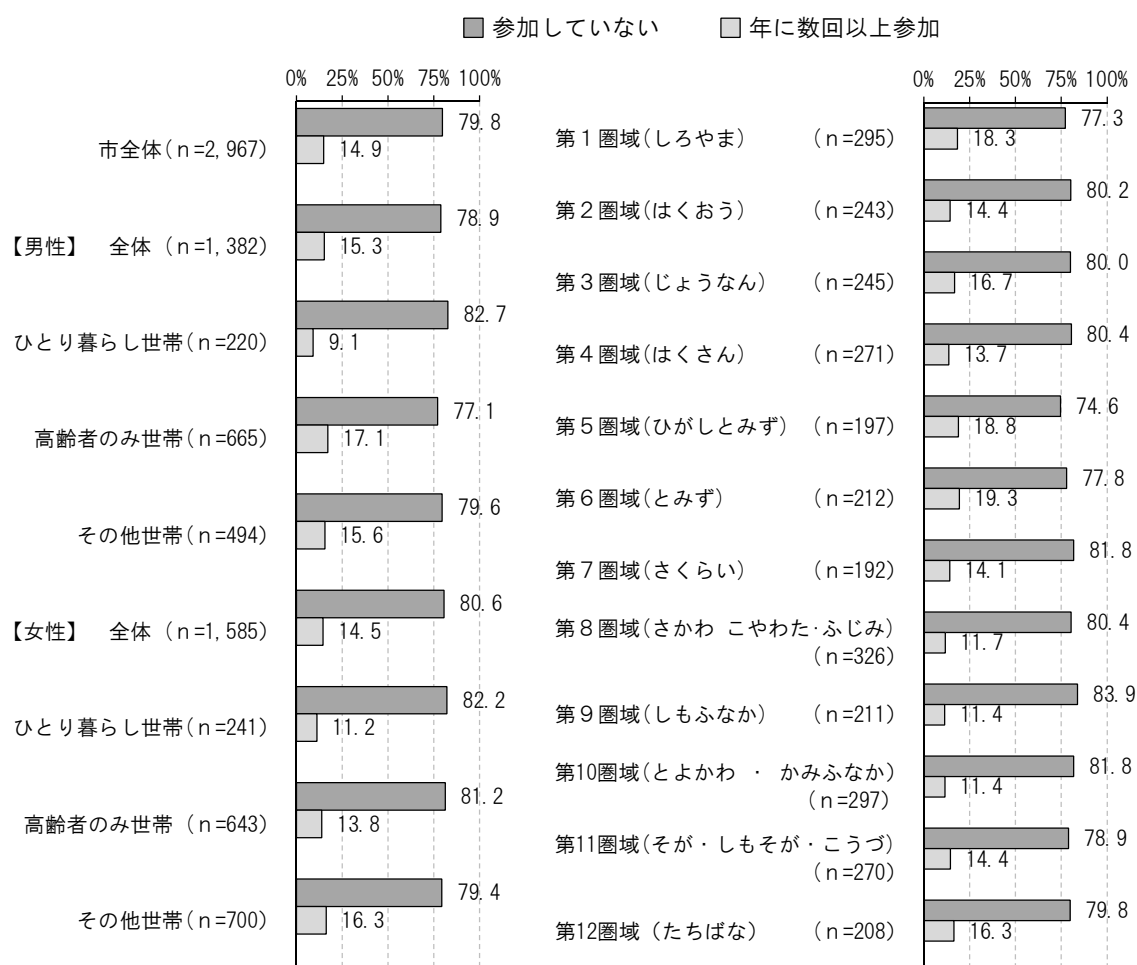
7-問5 ボランティア団体や市民活動団体・NPO

ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度は、市全体では「参加していない」が79.8%、「年に数回以上参加」が14.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男女ともにひとり暮らし世帯で、他の家族構成と比べてやや高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第9圏域（しもふなか）で83.9%、「年に数回以上参加」は第6圏域（とみず）で19.3%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.34 ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

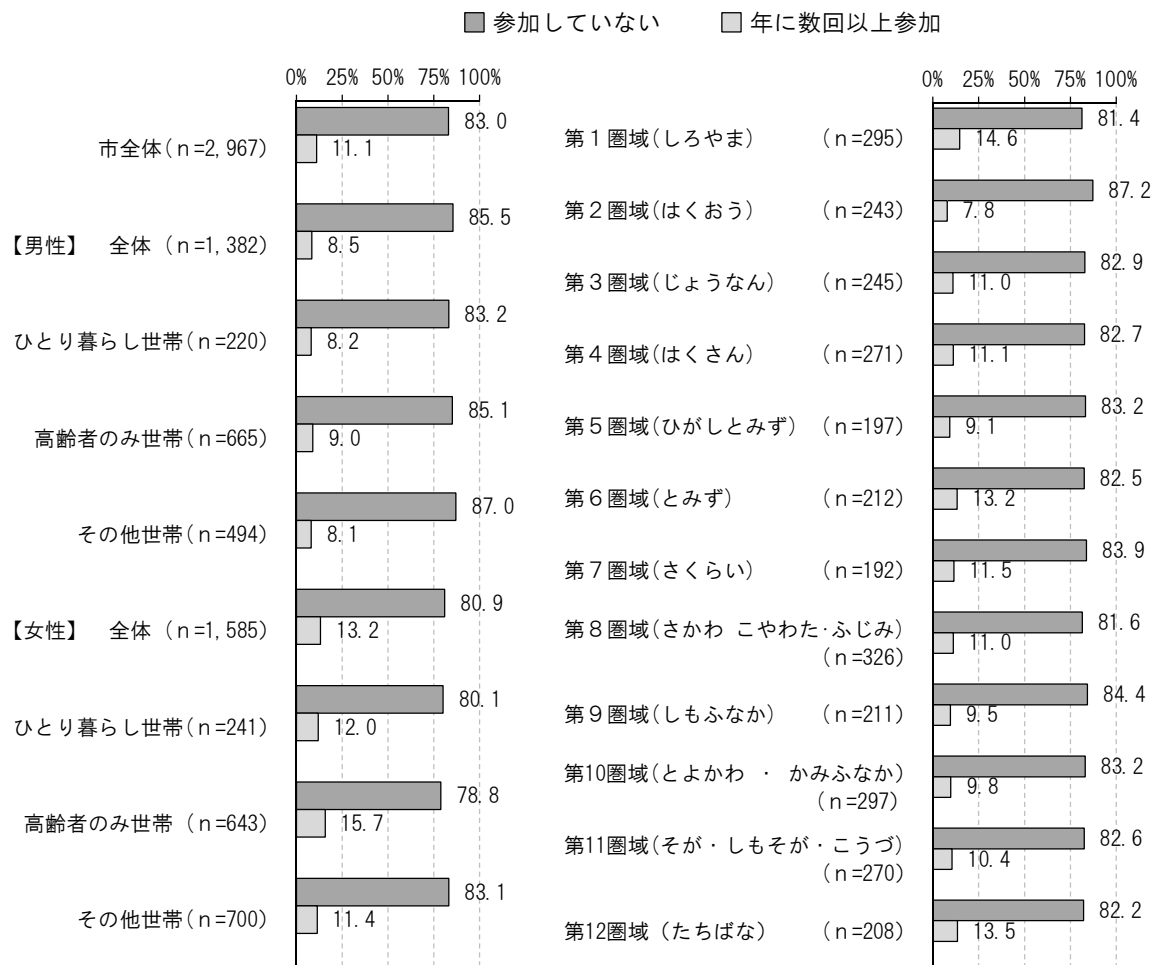
7-問6 学習・教養関係の団体やサークル

学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度は、市全体では「参加していない」が83.0%、「年に数回以上参加」が11.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男女ともにその他世帯で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第2圏域（はくおう）で87.2%、「年に数回以上参加」は第1圏域（しろやま）で14.6%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.35 学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

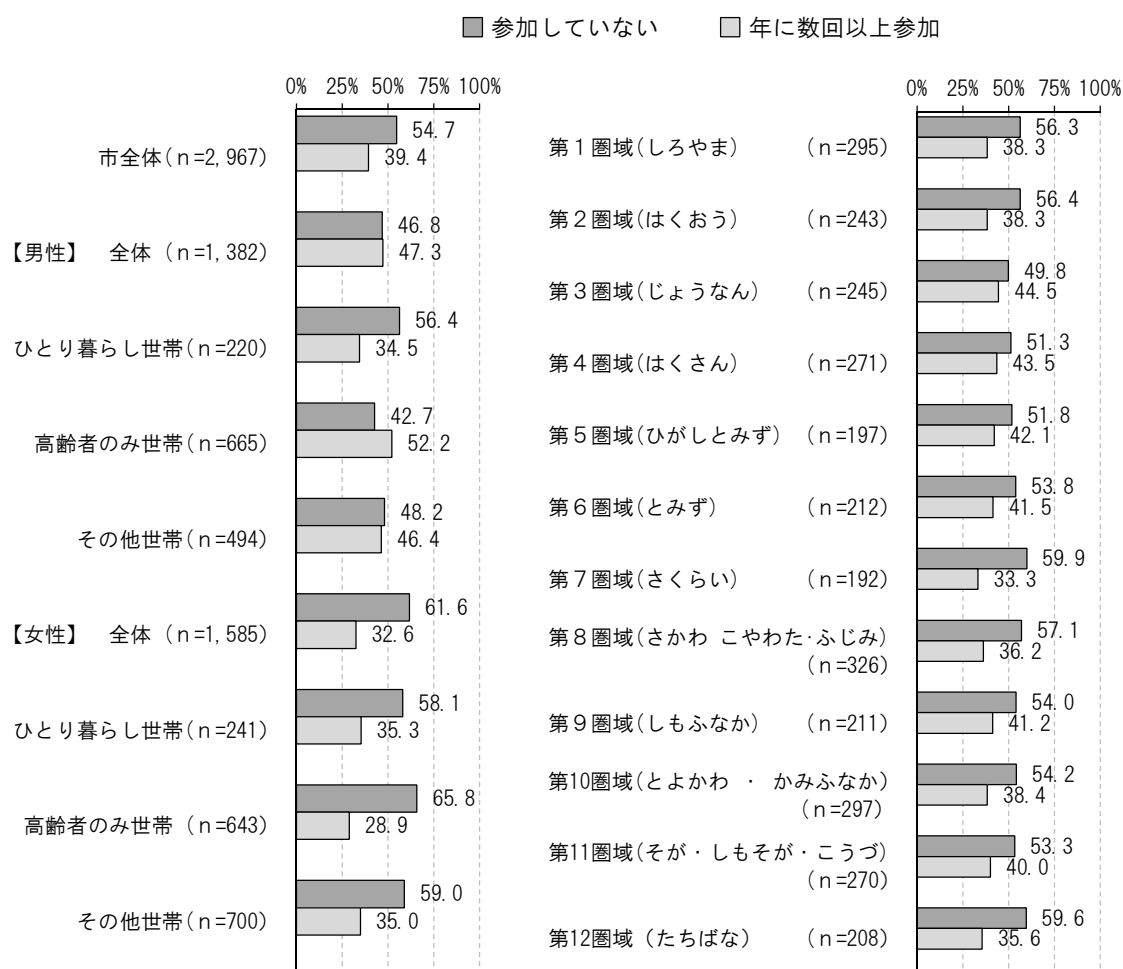
7-問7 収入のある仕事

収入のある仕事の頻度は、市全体では「参加していない」が54.7%、「年に数回以上参加」が39.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は女性の高齢者のみ世帯で65.8%と他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第7圏域（さくらい）で59.9%、「年に数回以上参加」は第3圏域（じょうなん）で44.5%となり、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.36 収入のある仕事の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



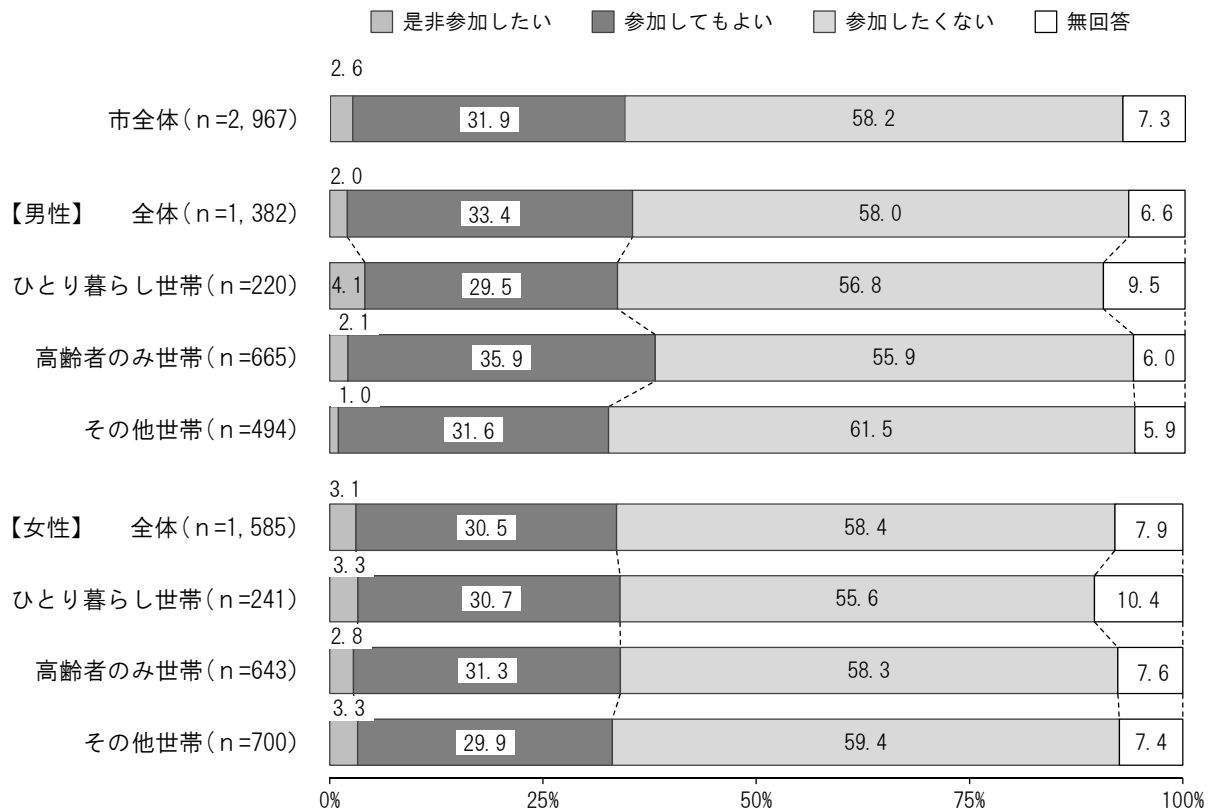
※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

7-問8 健康づくり活動や趣味等のグループ活動などの企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向は、市全体では「参加したくない」が58.2%、「参加してもよい」「是非参加したい」を合わせた『参加希望』は34.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加したくない」は男性のその他世帯で61.5%、『参加希望』割合は男性の高齢者のみ世帯で38.0%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.37 健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向(性別・家族構成別)



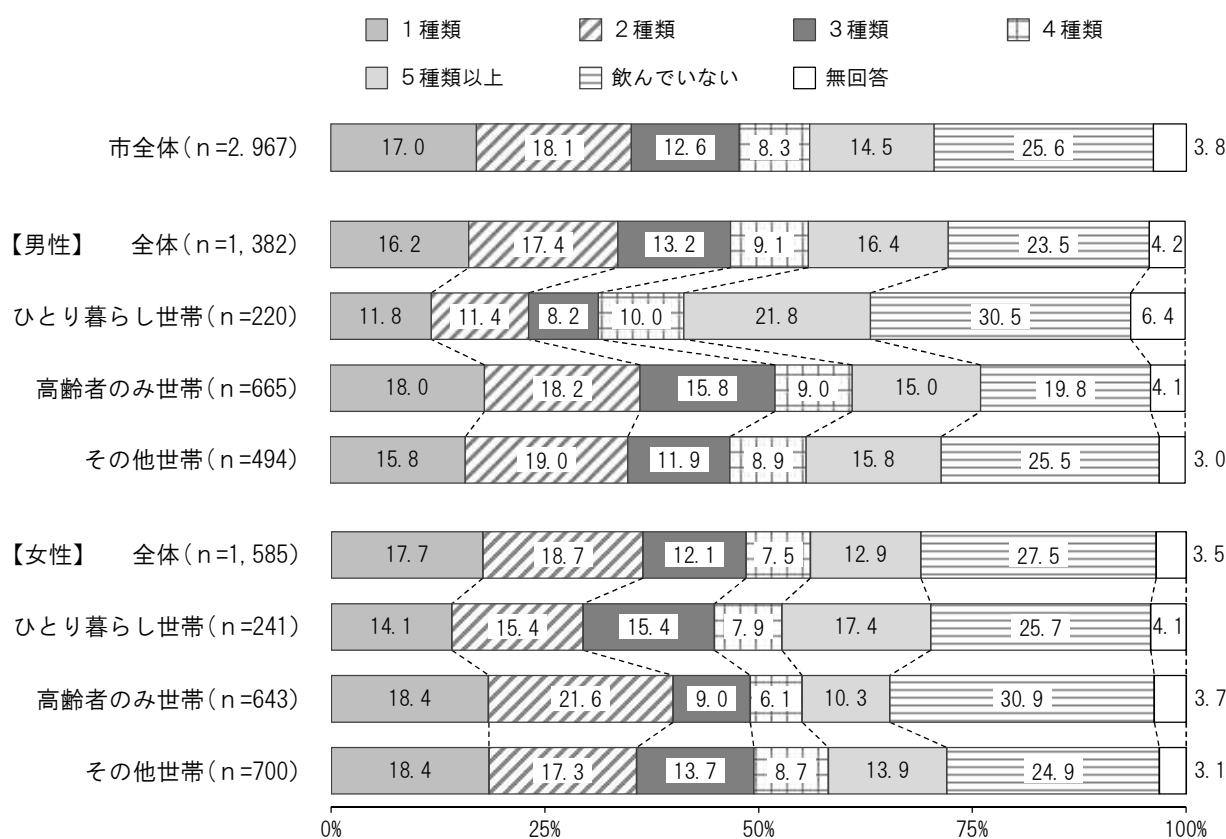
7 健康について

8－問1 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

医師の処方した薬を何種類飲んでいるかについて、市全体では「2種類」が18.1%、「1種類」が17.0%となっていますが、「飲んでいない」は25.6%で最も高くなっています。

性別・家族構成別に服薬状況をみると、男性はひとり暮らし世帯の「5種類以上」が21.8%、女性は高齢者のみ世帯の「2種類」が21.6%で、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.38 薬の服用状況（性別・家族構成別）

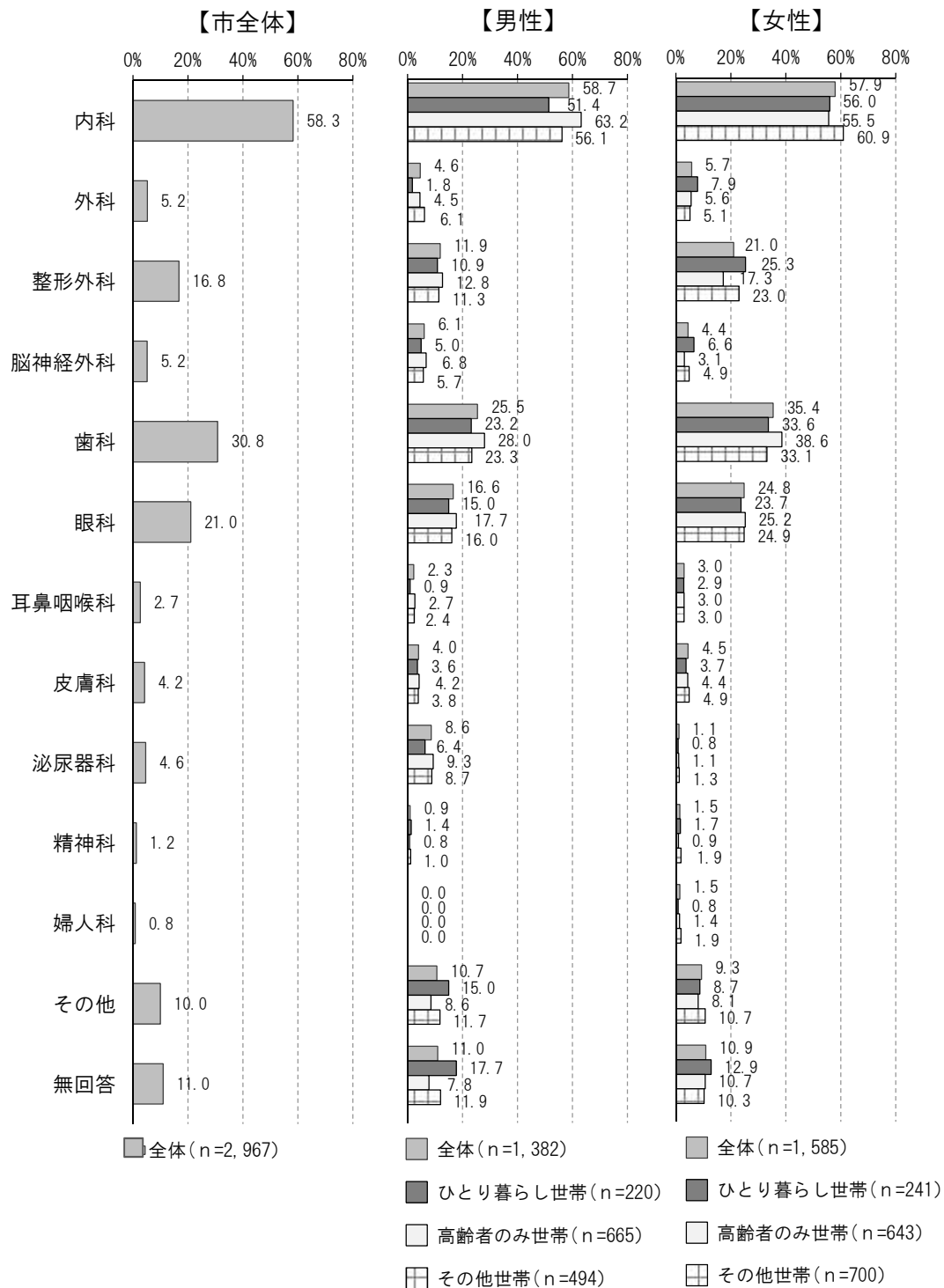


8-問2 現在、定期的に受診している診療科はありますか。※〇はいくつでも

定期的に受診している診療科は、市全体では「内科」が58.3%で最も高く、次いで「歯科」が30.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「内科」は男性の高齢者のみ世帯が63.2%、女性のその他世帯が60.9%となっています。「歯科」は高齢者のみ世帯が男女ともに最も高く、男性が28.0%、女性が38.6%となっています。

図 4.39 定期的に受診している診療科（性別・家族構成別）



8 小田原市で実施していることについて

9 一問1 市が開催している介護予防教室（65歳からの筋トレ教室や食で生き生き！栄養教室など）があることを知っていますか。

介護予防教室の認知度は、市全体では「知っているし、参加したことがある」が8.2%、「知っているが、参加したことはない」が37.2%となり、両者を合わせると45.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、女性の『認知度』は男性を大きく上回り、男性のひとり暮らし世帯で23.7%と最も低くなっています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第2圏域（はくおう）が49.8%で最も高く、第3圏域（じょうなん）が41.2%で最も低くなっています。

図 4.40 介護予防教室の認知度（性別・家族構成別）

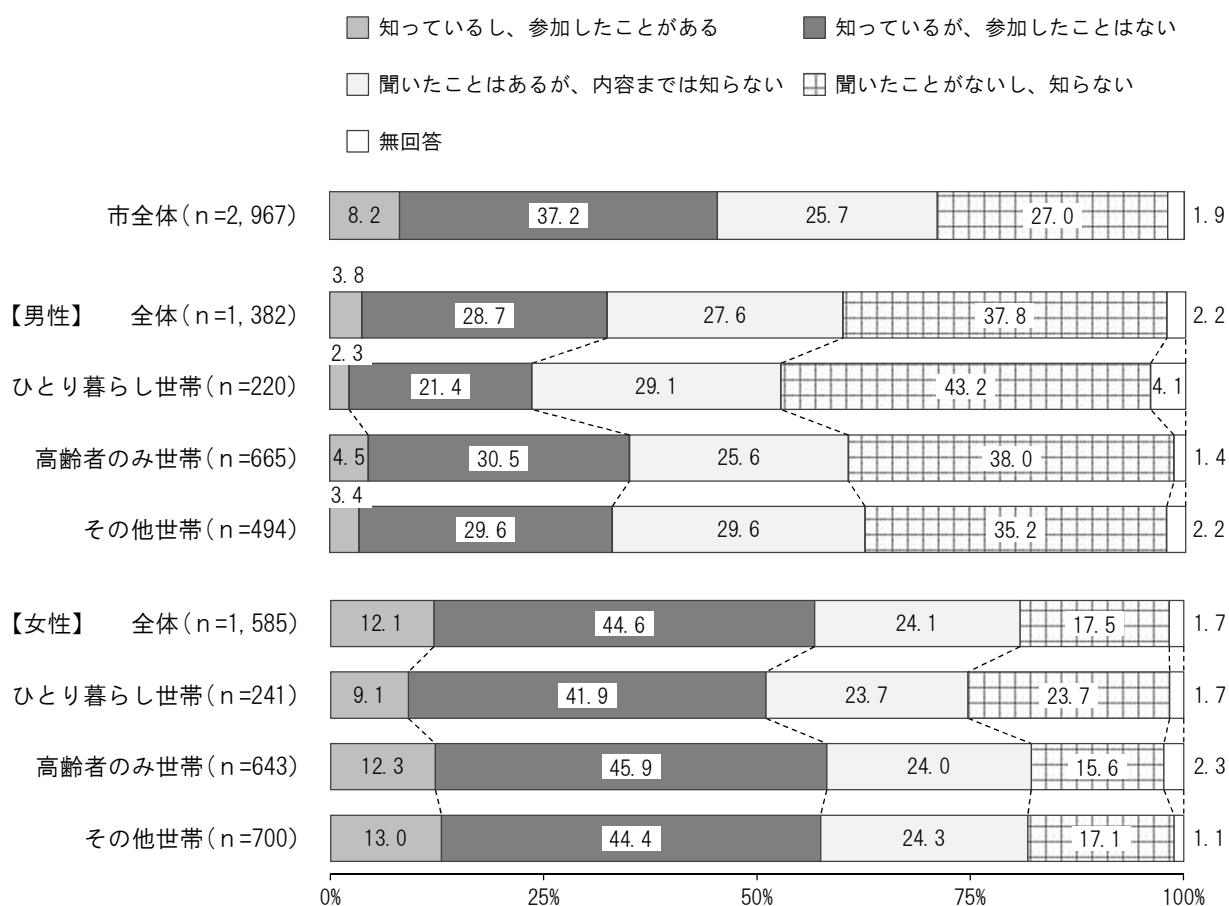
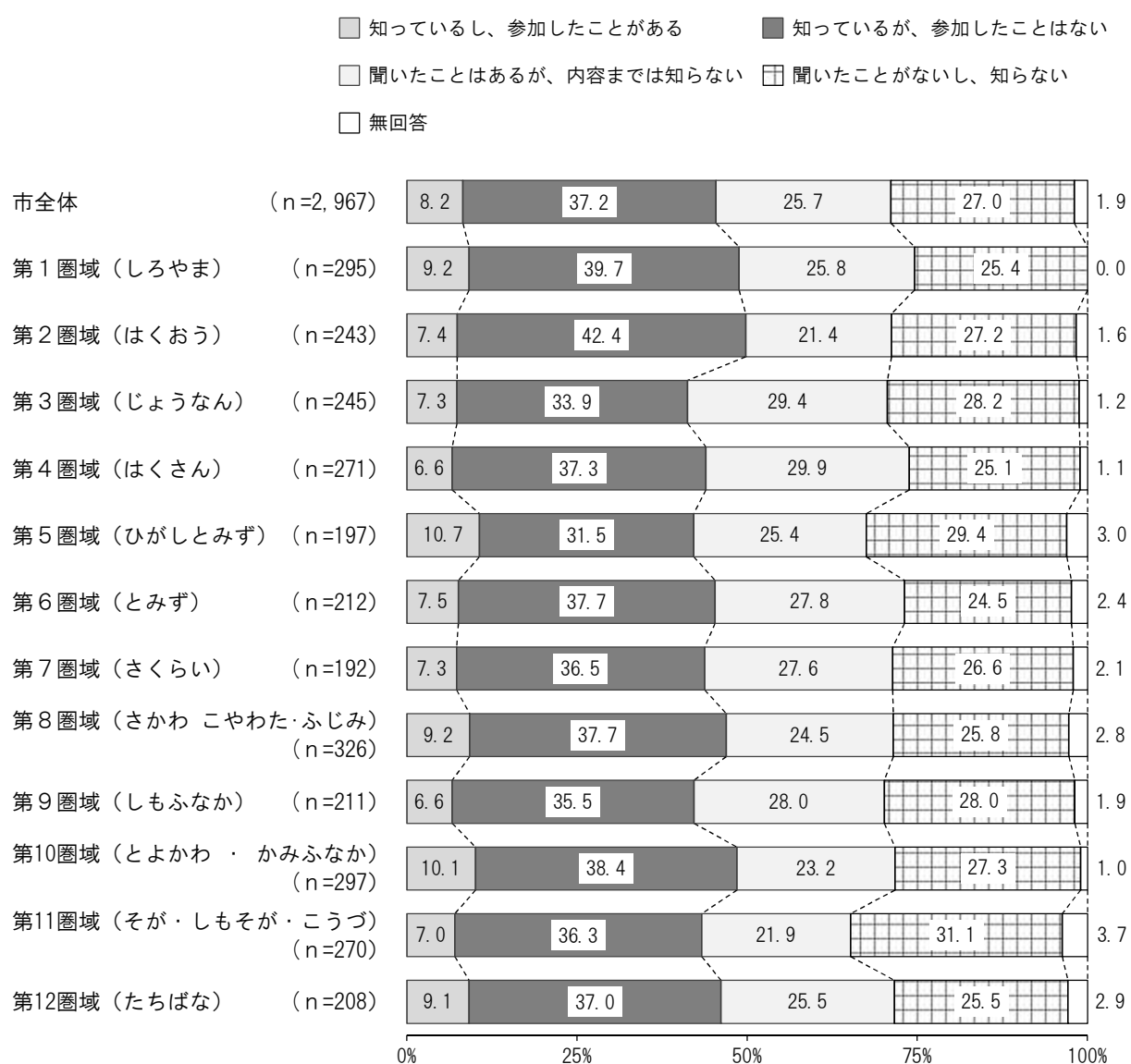


図 4.41 介護予防教室の認知度（日常生活圏域別）



9-問2 介護予防の各種教室に参加したいと思いますか。

介護予防教室の参加意向は、市全体では「是非参加したい」が1.8%、「機会があれば参加したい」が52.2%となり、両者を合わせた『参加意向』は54.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、『参加意向』は男性は高齢者のみ世帯が47.0%、女性はひとり暮らし世帯が63.5%で高くなっていますが、一方で、「参加したくない」は男性のひとり暮らし世帯が51.8%、女性のその他世帯が35.1%で、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、『参加意向』は、第7圏域（さくらい）が58.9%で最も高く、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）が51.5%で最も低くなっています。

図 4.42 介護予防教室の参加意向（性別・家族構成別）

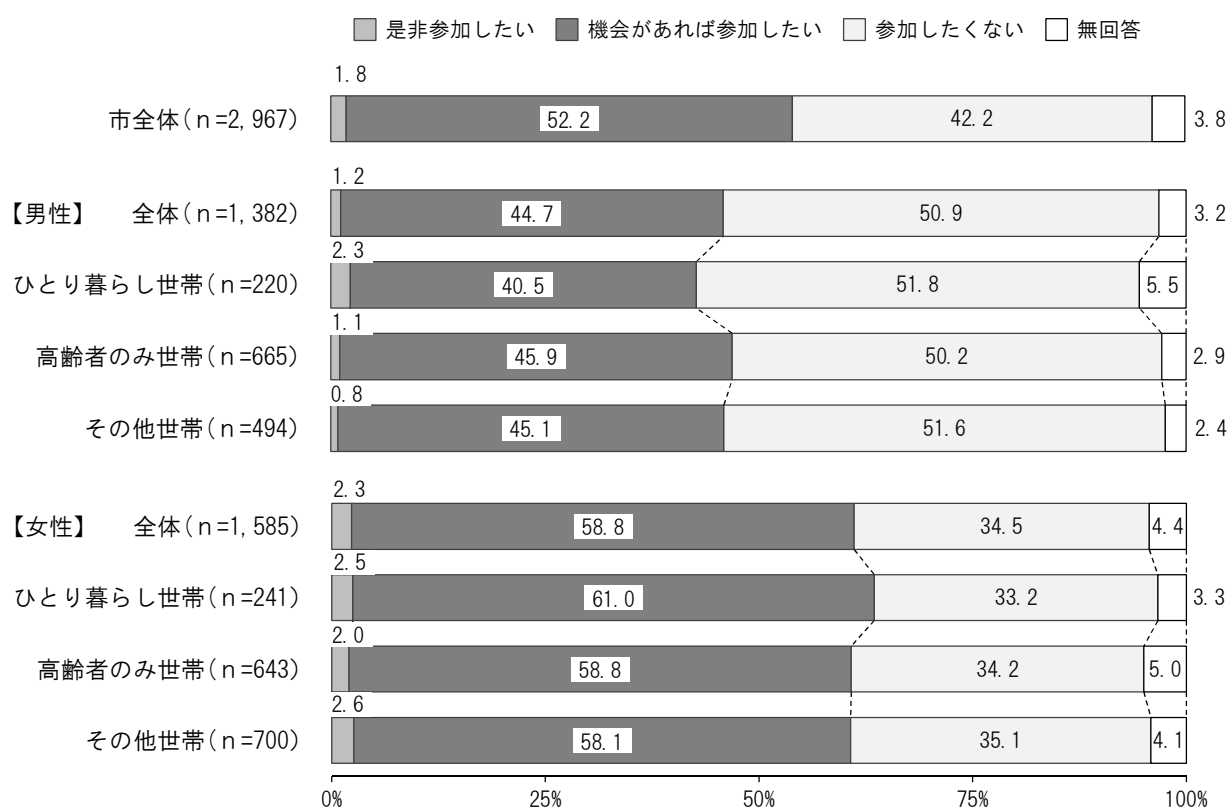
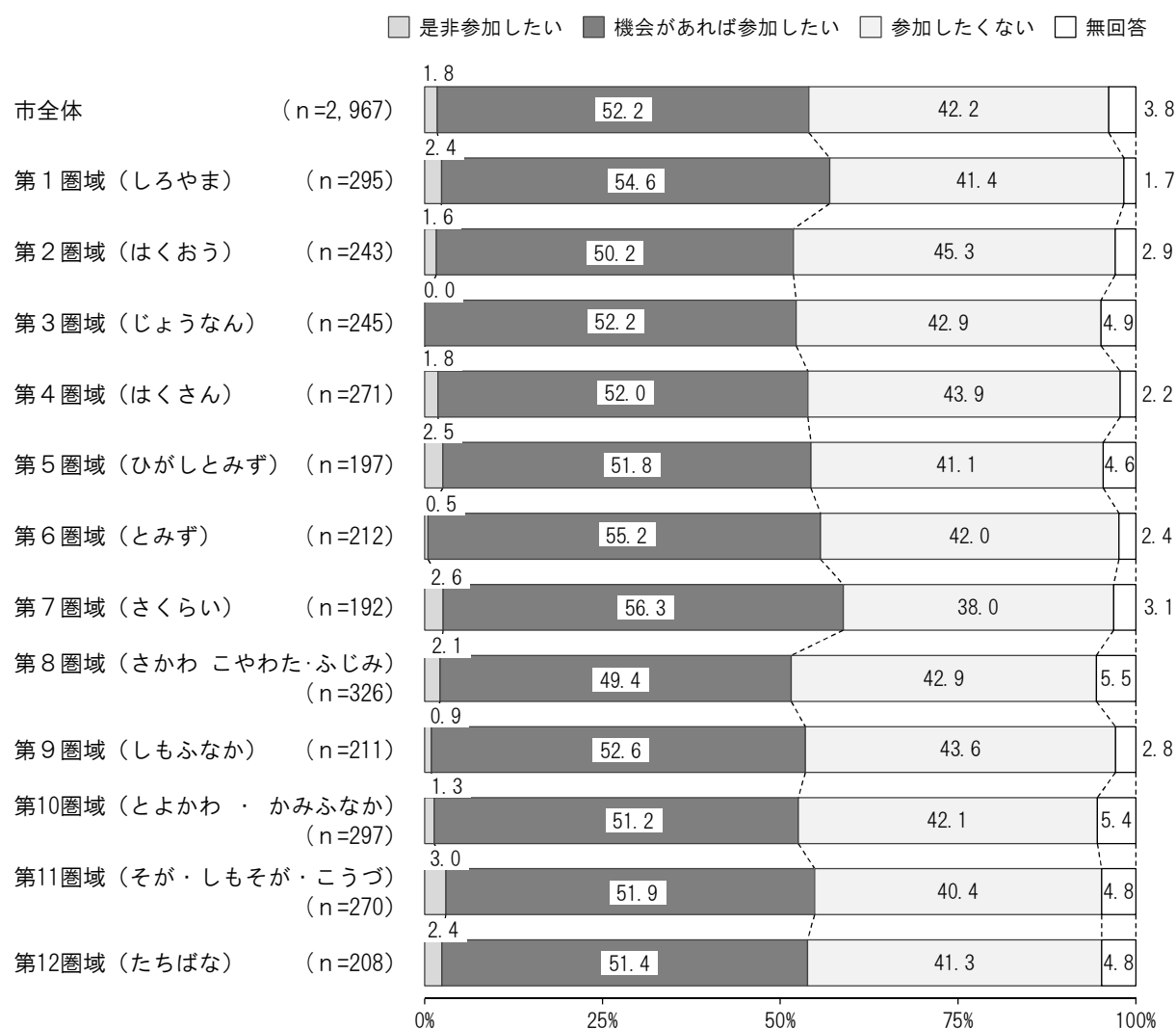


図 4.43 介護予防教室の参加意向（日常生活圏域別）



9-問3 地域包括支援センターを知っていますか。

地域包括支援センターの認知度は、市全体では「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」が15.6%、「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が22.2%となり、両者を合わせると37.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、『認知度』は男女ともにひとり暮らし世帯で他の家族構成と比べて低く、男性では23.2%、女性では39.0%となっています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第3圏域（じょうなん）が44.9%で最も高く、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）が32.6%で最も低くなっています。

図 4.44 地域包括支援センターの認知度（性別・家族構成別）

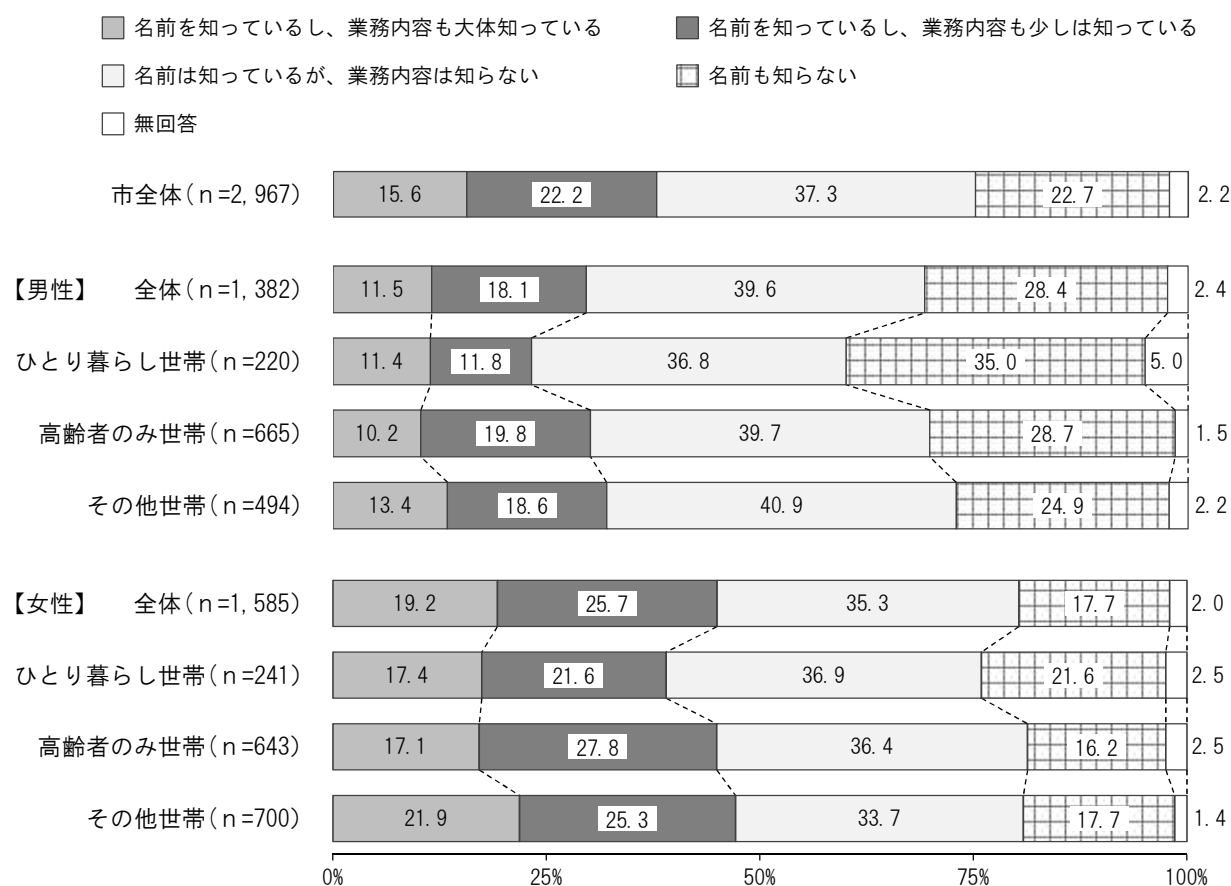


図 4.45 地域包括支援センターの認知度（日常生活圏域別）

